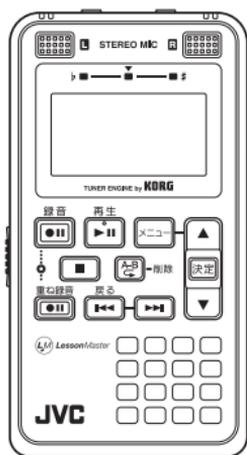


# JVC

## 取扱説明書/ 保証書

### ポータブルデジタルレコーダー

# XA-LM30



お買い上げいただきありがとうございます。

#### ⚠ご使用の前に

この「取扱説明書/保証書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT2161-002A

# 特長



microSDカードに長時間録音！

カードのタイトルがすぐにわかる「差し  
たらしゃべる！音声タイトル」機能搭載

録音も再生もワンタッチの  
かんたん操作！



高感度・広帯域内蔵ステレオマイクで高音質録音！

外部マイクや外部機器もつなげる！多様な入力端子

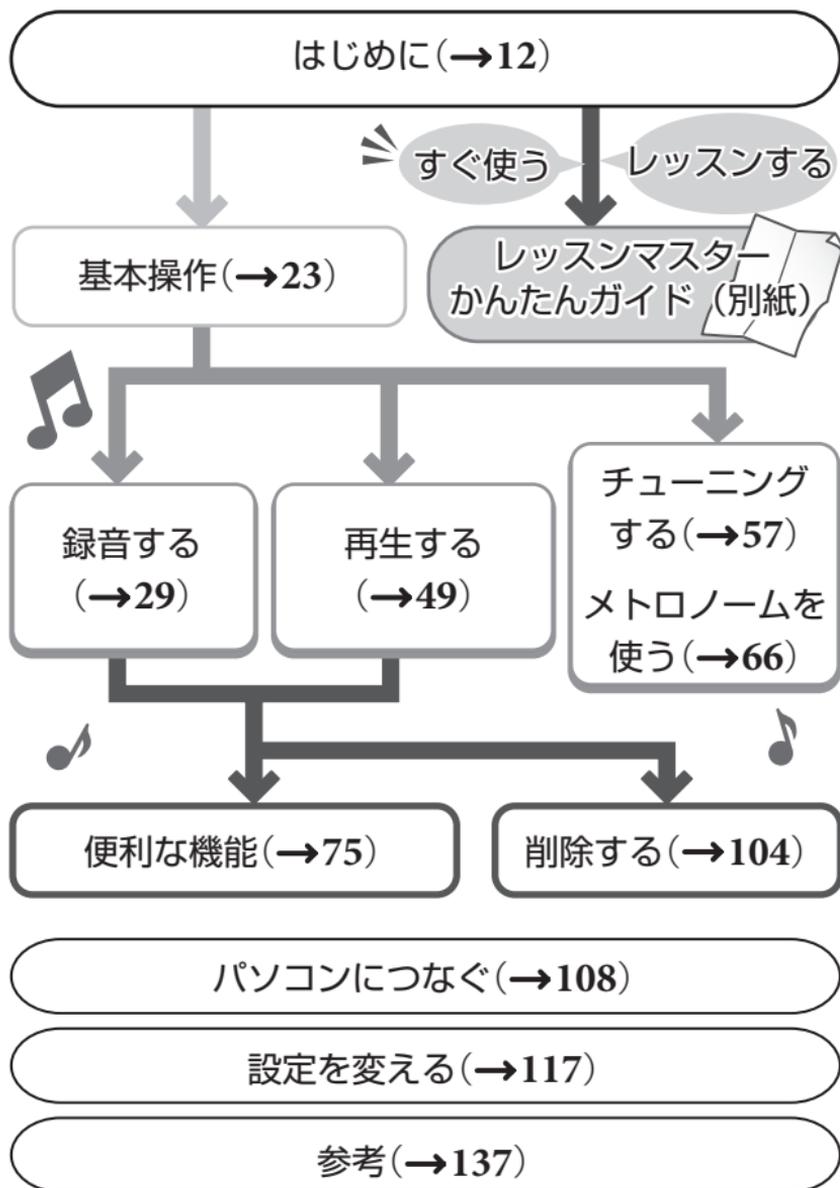
パートキャンセルで曲をカラオケのように再生！（→85）

先生の伴奏に自分の演奏を重ねて録音！（→44）

音楽レッスンに便利な機能を満載！

- ・クロマチックチューナー（→58）
- ・光るメトロノーム（→67）
- ・スピードコントロール（→82）
- ・キーコントロール（→83）
- ・聴き比べレッスン（→87）・簡単頭出し（→89）
- ・AB区間コピー（→92）・カード間ダビング（→98）

# 本書の見かた



# 目次

- 安全に正しくお使いいただくために... 6**  
本機を安全に正しくお使いいただくために  
守っていただきたいことを説明します。  
**必ずお読みください。**
- はじめに ..... 12**  
付属品、各部のなまえや乾電池の入れかたなど、  
本機を操作する前に知っておいていただきたい  
ことを説明します。
- 基本操作 ..... 23**  
電源の入れかたや日時の設定のしかたなど、  
基本操作を説明します。
- 録音する ..... 29**  
楽曲の録音のしかたや、録音のための設定・  
調節について説明します。
- 再生する ..... 49**  
録音した楽曲や、パソコンからコピーした音  
楽ファイルの聞きかたを説明します。
- チューニングする ..... 57**  
楽器チューナーとしての使いかたを説明し  
ます。
- メトロノームを使う ..... 66**  
メトロノームとしての使いかたを説明します。

<b>便利な機能</b> .....	<b>75</b>
音楽レッスンに便利な機能の使いかたを説明します。	
<b>削除する</b> .....	<b>104</b>
録音した楽曲や音楽ファイルの削除のしかたを説明します。	
<b>パソコンにつなぐ</b> .....	<b>108</b>
本機とパソコンの間でのファイルのコピーや、削除のしかたを説明します。	
<b>設定を変える</b> .....	<b>117</b>
本機の設定の変えかたや、情報の見かたを説明します。	
<b>参考</b> .....	<b>137</b>
うまく操作ができないときや、本機の仕様について知りたいときにお読みください。 索引から知りたい項目を探すこともできます。	

はじめに	基本操作	録音する	再生する	チューニングする	メトロノームを使う	便利な機能	削除する	パソコンにつなぐ	設定を変える	参考
------	------	------	------	----------	-----------	-------	------	----------	--------	----

# 安全に正しくお使いいただくために

## ◆安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

 **警告** 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は行為の指示を告げるものです。

## 警告

### ■ 自動車やバイク、自転車などを運転中は使用しない



- 運転中に使用すると、交通事故の原因となります。
- また、歩きながら(特に踏切や横断歩道など)使用するときも周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

### ■ 幼児、子供の手の届く場所に放置しない



- 誤ってケーブル類やストラップを首に巻き付け、窒息を起こす原因となります。

### ■ 電池やmicroSDカードを幼児、子供の手の届く場所に放置しない



- 誤って飲み込む恐れがあります。

### ■ 分解・改造しない



- 内部に金属物が入ると、故障や火災、感電の原因となります。
- 点検や修理は販売店にご依頼ください。

## 安全に正しくお使いいただくために(つづき)

### ■ 電池の取り扱いに注意する



電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(+)とマイナス(-)を間違えない
- 電池のプラス(+)とマイナス(-)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく  
もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。  
万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 電池を小さなお子様の手の届く所に置かない  
誤って飲み込む恐れがあります。

使い終わった電池は、自治体の指示に従って廃棄してください。



欧州連合のリサイクルマークです。

## ⚠ 注意

### ■ 大音量で長時間つづけて聞きすぎない



- 耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。

### ■ 水をかけたりぬらしたりしない



- 機器を水がかかる場所(風呂場や台所など)で使用すると、内部に水が入り、火災や故障の原因となることがあります。

### ■ ヘッドホンを本体に巻きつけない



- コードが断線し、音が聞こえなくなるなどの不具合が発生することがあります。

## 安全に正しくお使いいただくために(つづき)

### ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。

特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。

窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。



音のエチケット

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

## 使用上のご注意

### ■ 本体の置き場所について

次のような場所には置かないでください。変形や変色、故障の原因となることがあります。

- 窓を閉めきった自動車の中(とくに夏期)
- 風呂場など湿気の多いところ
- ホコリの多いところ
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
- 腐食性のガスなどが発生するところ

## 使用上のご注意(つづき)

---

- **航空機の中では電源を入れないでください**  
機内の電子機器に影響を与える恐れがあります。  
機内では必ず電源を切っておいてください。
- **落としたり強い衝撃を加えないでください**  
破損や故障の原因になることがあります。
- **汗や水に濡れた手で操作しないでください**  
感電や電子回路のショート、腐食の原因となる  
ことがあります。身につけて使用する場合、汗などの  
水分が内部に入らないようにしてください。
- **USB接続時に雷が鳴り出したら、USBケーブルを  
はずしてください**  
感電の原因になることがあります。
- **microSDカードの抜き差しについて**  
次のような場合は、microSDカードを抜かないで  
ください。
  - 録音中
  - 再生中
  - コピー中
  - microSDカード読み込み中
  - 電源入/切の動作中
  - USB接続中ダビング中は、画面に従って抜き差ししてください。

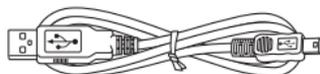
# はじめに

付属品を確認する .....	13
電池を入れる.....	14
各部のなまえとはたらき.....	16
microSDカードを入れる .....	20
ヘッドホンをつなぐ.....	22
誤操作を防ぐ.....	22

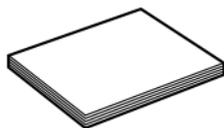
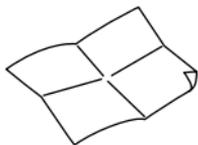
## 付属品を確認する

お使いになる前に付属品をご確認ください。不足しているものがありましたら、お買い上げいただいた販売店またはカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

- 単4形アルカリ乾電池(2本、動作確認用)
- USBケーブル

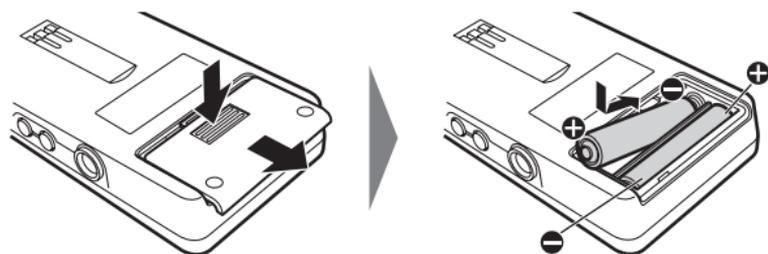


- レッスンマスター  
かんたんガイド
- 取扱説明書/保証書(本書)



## 電池を入れる

単4形アルカリ乾電池または単4形充電式ニッケル水素電池(2本、市販品)を使います。

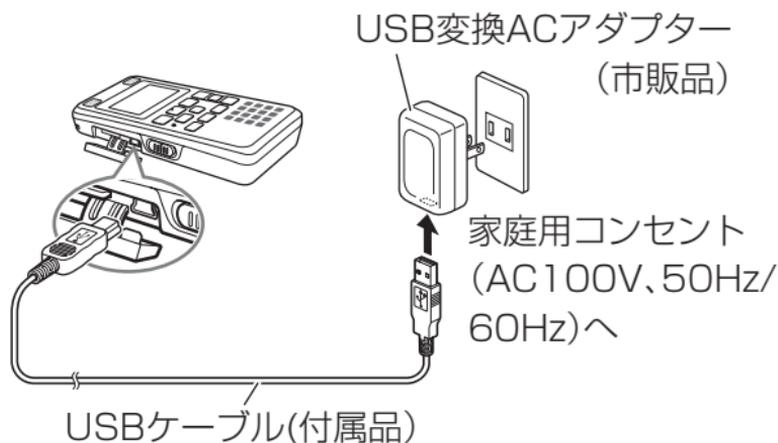


本体内部の極性表示(⊕/⊖)に合わせて正しく入れてください。

### お知らせ

- 付属の乾電池は動作確認用です。
- マンガン乾電池は使用できません。
- 画面で電池残量を確認できます(→ 28)。少なくなってきたら、2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用する電池の種類を設定すると、より正確に残量を表示できます(→ 134)。
- 録音するときは、予備の電池をご用意いただくことをおすすめします。
- 電池を抜いたまま2分以上放置すると、時計設定が消去される場合があります。
- 電池を入れるときや交換するときは、あらかじめ電源を切ってください。

- 市販のUSB変換ACアダプターを使って、家庭用の電源(AC100V、50Hz/60Hz)で使うこともできます。



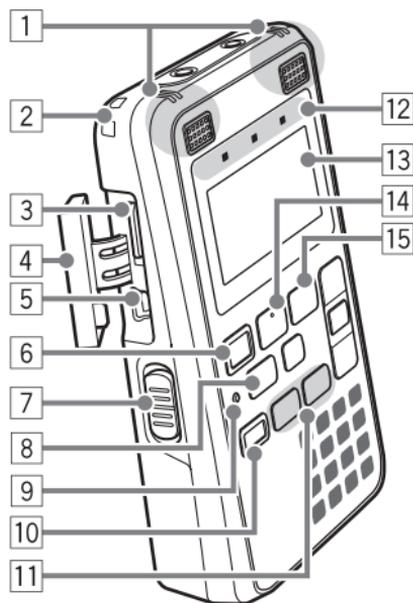
## お知らせ

- USB変換ACアダプターを使うときも、電池は入れたままにしておくことをおすすめします。電池が入っていないときに停電が起きたり、コンセントから抜けて電源が切れたりすると、ファイルが破損する原因となることがあります。
- USB変換ACアダプターを使用しているときは、本機の電源を切ることはできません。電源を切るときは、USBケーブルを抜いてから電源を切ってください。

**USB変換ACアダプターを使用しても、本機で充電式ニッケル水素電池を充電することはできません。**

# 各部のなまえとはたらき

## 正面、左側面



- 1 ステレオ内蔵マイク  
L(左チャンネル)、  
R(右チャンネル)  
(→ 30、32)
- 2 ストラップ取り付け穴
- 3 microSDカード挿入  
口(→ 20)
- 4 microSD/USBカ  
バー
- 5 USB端子  
(→ 15、110)  
パソコンまたは市販  
のUSB変換ACアダプ  
ターにつなぎます。

## 6 録音●|| ボタン(→ 39)

- 一度押すと、通常の録音の待機状態(||)になり、もう一度押すと、録音(●)が始まります。
- 録音中に押すと、録音が一時停止します。

## 7 電源/ホールドスイッチ(→ 22、24)

- 「電源」側に2～3秒押し上げると、電源が入/切します。
- 「ホールド」側に押し下げると、ボタンが動かなくなり誤操作を防ぎます(ホールド)。

8 ■ ボタン

- ・ 録音または再生が停止します。
- ・ メトロノームのテンポを調節します(→ 67)。

9 録音ランプ(→ 39、44)

録音待機中は点滅し、録音中は点灯します。

10 重ね録音●|| ボタン(→ 44)

- ・ 一度押すと、重ね録音の待機状態(||)になり、もう一度押すと、録音(●)が始まります。
- ・ 重ね録音中に押すと、録音が一時停止します。

11 戻る|◀◀/▶▶| ボタン

- ・ 曲の頭出しをします。再生中に押しつづけると、早戻し/早送りになります(→ 55)。
- ・ カーソルを左右に移動して項目を選びます。
- ・ メニューの表示中に戻る|◀◀ ボタンを押すと、1つ前のメニューに戻ります。

12 チューニング/メトロノームランプ(→ 60、68)

13 表示窓

14 再生▶ || ボタン

再生(▶)を始めます。再生中に押すと、再生が一時停止(||)します。

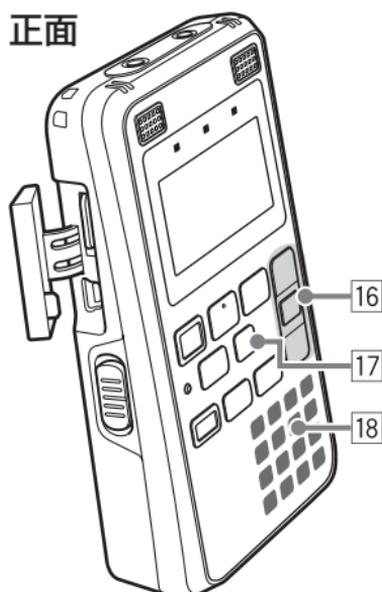
15 メニューボタン

- メニューを表示します(録音中を除く)(→ 27)。
- ・ 押しつづけると、1つ前の画面に戻ります。

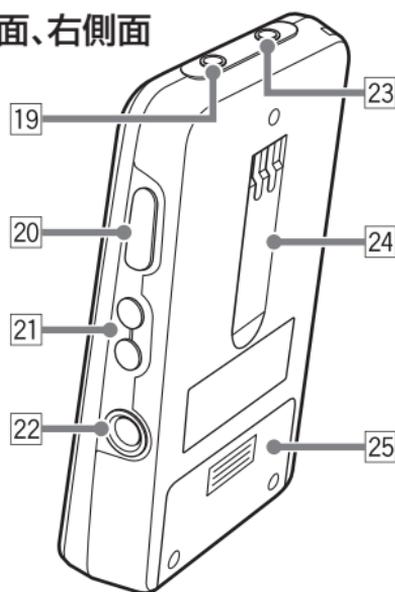
次のページにつづく

## 各部のなまえとはたらき(つづき)

正面



背面、右側面



### 16 ▲/▼ ボタン、決定ボタン

- ▲/▼ ボタン: 上下に並んだ項目を選びます。再生中に押すと、音量を調節します。
- 決定ボタン: 選択や調節を決定します。

### 17 A-B↻/削除ボタン

- A-B区間リピート再生を設定します(→ 78)。
- 曲の再生中または停止中に押しつづけると、その曲を削除します(→ 105)。
- リストからフォルダ/ファイルを選んで押しつづけると、そのフォルダ/ファイルを削除します(→ 106)。

18 **スピーカー(モノラル)**

19 **ライン/マイク入力端子(→ 30、32、59)**

外部機器または外部ステレオマイクをつなぎます  
(φ3.5mm、ステレオミニ)。

20 **音量+ボタン**

音量を調節します(0~30)。

21 **スピード/キー+ボタン(→ 82、83、125)**

再生速度または音程を調節します。

22 **コンタクトマイク/ギター入力端子  
(→ 30、33、56、59)**

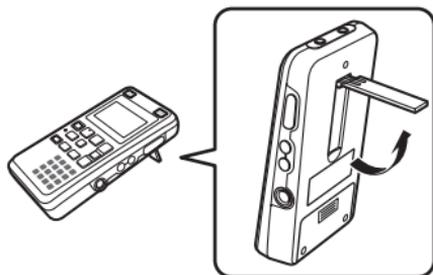
コンタクトマイク(別売り:AC-RL10J)、電気楽器、または外部モノラルマイクをつなぎます  
(φ6.3mm、モノラル)。

23 **ヘッドホン端子(→ 22)**

ヘッドホン(市販品)をつなぎます(φ3.5mm、ステレオミニ)。

24 **スタンド**

スタンドを立てて、  
のように置くことができます。



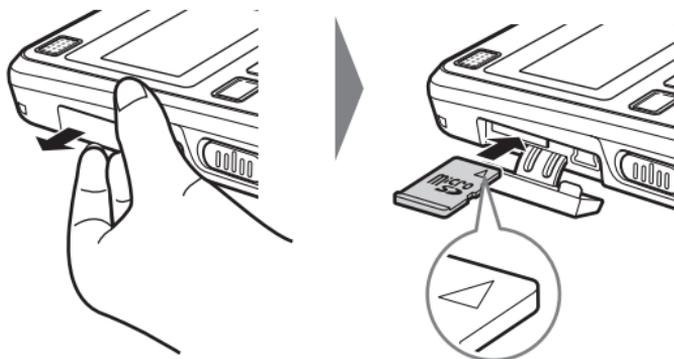
25 **電池カバー(→ 14)**

# microSDカードを入れる

本機では、録音した楽曲やパソコンからコピーした音楽ファイルをmicroSDカード(市販品)に保存します。



- 本機では、さらに大容量のmicroSDHCカード(16GBまで)を使用することもできます。



- カバーをあけるときの、指の爪を傷つけないようにご注意ください。
- カチッと音がするまで押し込みます。

## 音声タイトル機能について

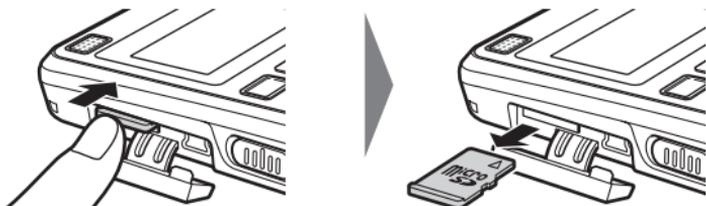
本機は、microSDカードの内容を区別できる「音声タイトル」機能を搭載しています。録音のしかたなど、詳しくは**94**ページをご覧ください。

## お知らせ

- microSDカードを使用するときは、最初に本機でフォーマットする必要があります(→135)。このとき、カードに記録されていたデータはすべて消去されます。

## 取り出すときは

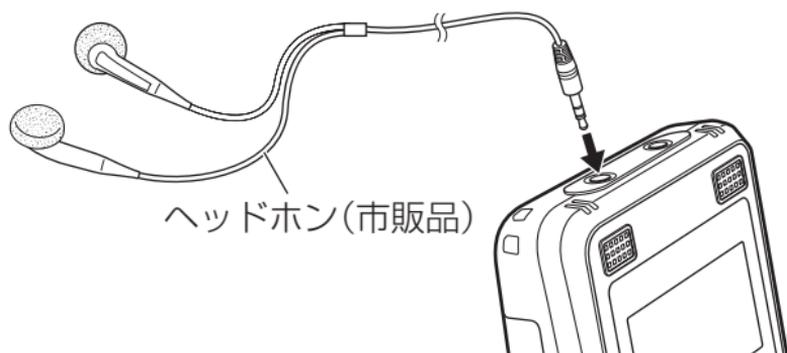
カチッと音がするまで押す



## ご注意

- microSDカードは小さいので、なくさないようにご注意ください。
- カードを抜くときは、無理な力を加えずに、まっすぐ引き抜いてください。
  
- microSDロゴは、商標です。
- microSDHCロゴは、商標です。

## ヘッドホンをつなぐ



### お知らせ

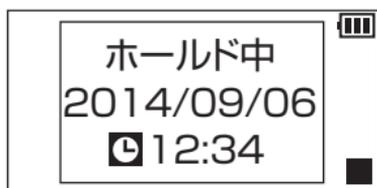
- ヘッドホンをつないでいるときは、スピーカーから音は出ません。

## 誤操作を防ぐ(ホールド)

電源/ホールドスイッチを「ホールド」側に押し下げて、ボタンが働かないようにすることができます。



- ホールドしているときにボタンを押すと、ホールドをお知らせするメッセージと時刻が表示されます。(電源を切っているときは表示されません。)





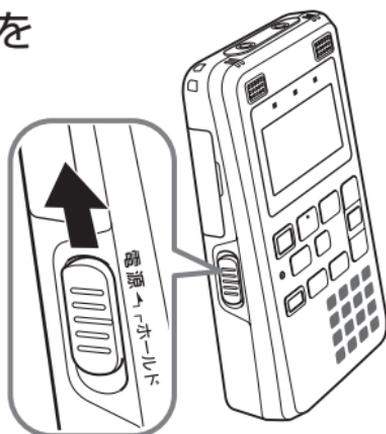
# 基本操作

電源を入れる/切る.....	24
日付と時刻を設定する .....	25
音量を調節する .....	26
メニュー画面.....	27
• 電池残量の見かた .....	28
• ポジションバーの見かた .....	28

## 電源を入れる/切る

電源/ホールドスイッチを  
「電源」側に2～3秒  
押し上げる

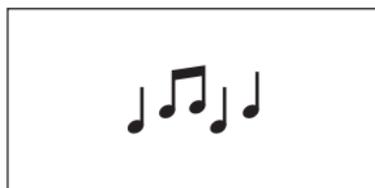
- 電源を切るときも  
同じ操作です。



電源を入れるとき

画面に音符が表示されたら、  
スイッチをはなします。

- 初めて本機の電源を入れた  
ときは、つづけて**25**ページ  
の設定をしてください。



電源を切るとき

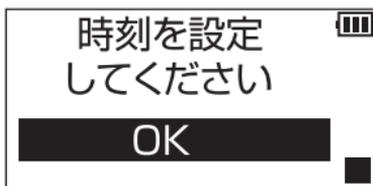
画面に「LessonMaster」と  
表示されたら、スイッチをは  
なします。



# 日付と時刻を設定する

次のときは、本機の電源を入れると「時刻を設定してください」と表示されます。

- 初めて本機の電源を入れたとき
- 電池を抜いたまましばらく放置したあとで、電源を入れたとき



操作の前に、日付と時刻を設定してください。

## ご注意

- 本機で録音したファイルは、録音開始時刻がファイル名としてつけられ、録音日ごとのフォルダに保存されます。日付と時刻は正しく設定してください。

## お知らせ

- 日付と時刻を修正するときは、「機能/設定」の「システム設定」から、「時計設定」を選んで設定してください。

「時刻を設定してください」と表示されているときに…

## 1 決定ボタンを押す

時計設定画面が表示されます。

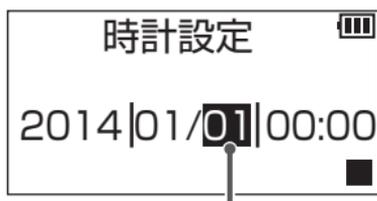


次のページにつづく

## 日付と時刻を設定する(つづき)

### 2 設定する

- カーソルを移動する:  
戻る◀◀/▶▶ボタン  
を押す
- 年・月・日・時・分を合わせる:  
▲/▼ボタンを押す



### 3 分にカーソルを合わせて決定ボタンを押す

日付と時刻が設定され、音声タイトルが再生されます。

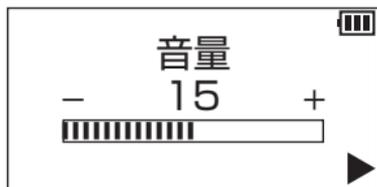
- 音声タイトルが録音されていないときは、「音声タイトルを録音しますか?」と表示されます。「はい」を選ぶと、音声タイトルの録音が始まります。「いいえ」を選んで、あとから録音することもできます。音声タイトルについて、詳しくは94ページをご覧ください。

## 音量を調節する

### 音量+/-ボタンを押す

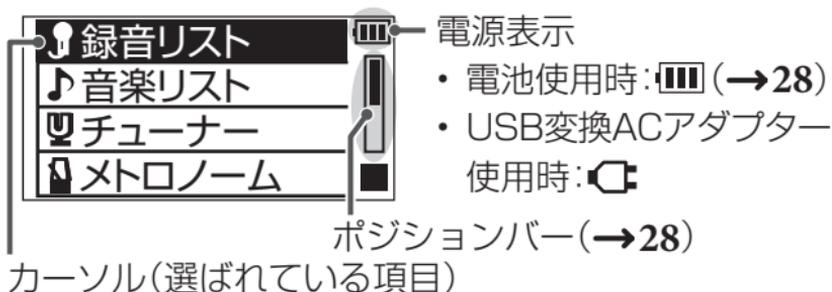
画面に音量レベルが表示されます。

- 再生画面(→54)を表示しているときは、▲/▼ボタンを押しても音量を調節することができます。
- お買い上げ時は「20」に設定されています。



## メニュー画面

本機の電源を入れると、メニュー画面が表示されます。



### メニュー画面の項目

録音リスト	録音した楽曲ファイルのリストを表示します(→50)。
音楽リスト	パソコンから取り込んだ音楽ファイルのリストを表示します(→50)。
チューナー	本機を楽器のチューニングに使います(→58)。
メトロノーム	本機をメトロノームとして使います(→67)。
カレンダー	カレンダーを表示します(→52)。
ダビングリスト	ダビングしたファイルのリストを表示します(→101)。
曲削除	ファイルを削除します(→106)。
機能/設定	レッスンに便利な機能を使います(→76、79、85、90、92、95、98、102)。 本機の設定を変更します(→118、135、136)。

## メニュー画面(つづき)

---

### ◆ 電池残量の見かた

 十分残っています。

 約半分残っています。

 残りが少なくなっています。

 ほとんど残っていません。新しい電池に交換してください。

(点滅)

### お知らせ

- 使用する電池の種類(アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池)を設定すると、より正確に残量を表示できます(→ 134)。
- 残量表示は、使用状況によって変わります。
- 残量表示にかかわらず、電池の状態によっては、スピーカーから大きな音を出すと突然電源が切れる場合があります(→ 138)。

### ◆ ポジションバーの見かた

 すべての項目が表示されています。

 表示されていない項目が上側にあります。

 表示されていない項目が下側にあります。

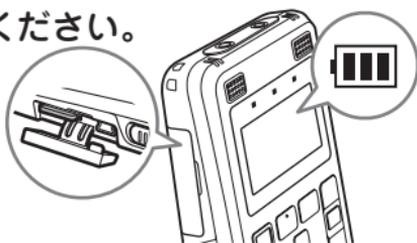
 表示されていない項目が上下にあります。

# 録音する

録音する前に .....	30
• 入力ソースについて .....	30
• 録音の準備をする .....	32
録音の設定をする .....	34
• 外部入力設定を切り換える .....	34
• 録音品質を設定する .....	36
録音する .....	38
• 通常の録音 .....	39
• メトロノーム音を入れて録音 .....	42
• 重ね録音 .....	44
録音画面 .....	47
• 録音レベルメーターの見かた .....	48

録音の前に確認してください。

microSDカードは  
入っていますか？  
電池は十分残って  
いますか？



# 録音する前に

本機では、通常の録音と重ね録音ができます。

## • 通常の録音

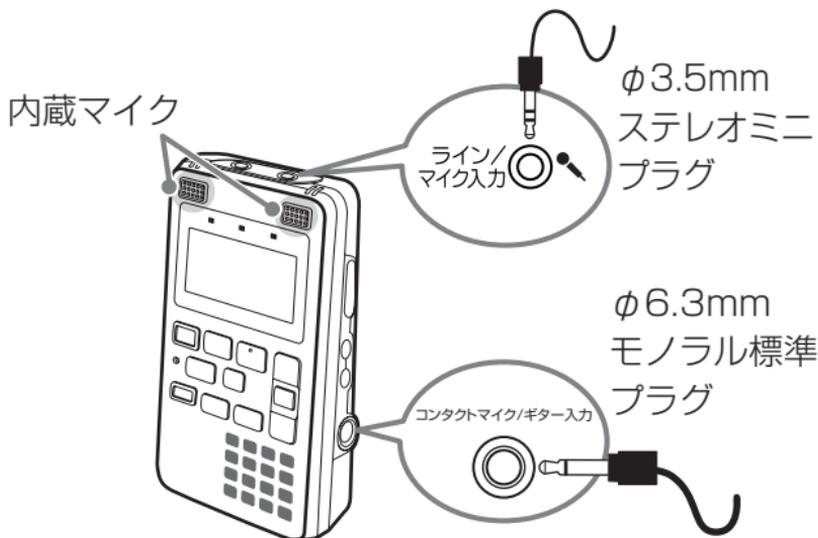
歌や楽器の演奏を録音します。

## • 重ね録音

本機に保存されているWAV形式のファイルの上に録音を重ねます。元のファイルとは別に、新しい楽曲ファイルが作成されます。1つの曲に、ギターやボーカルなどの録音を、くり返し重ねることもできます。

## ◆ 入力ソースについて

本機では、内蔵マイク、ライン/マイク入力端子、またはコンタクトマイク/ギター入力端子を使って録音できます。



- 内蔵マイクは、**ライン/マイク入力端子**および**コンタクトマイク/ギター入力端子**に何もつないでいないときに働きます。
- **ライン/マイク入力端子**と**コンタクトマイク/ギター入力端子**の両方にプラグをつなぐと、**コンタクトマイク/ギター入力端子**が入力ソースとして選ばれます。

### 接続できる機器

<b>ライン/マイク入力端子</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デジタルオーディオプレーヤーなどの外部機器</li> <li>• 電池内蔵またはプラグインパワー方式のステレオマイク</li> </ul>
<b>コンタクトマイク/ギター入力端子</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンタクトマイク</li> <li>• エレキギターなどの電気楽器</li> <li>• モノラルマイク</li> </ul>

- プラグインパワーとは、本機から接続機器に電源を供給することです。

### ご注意

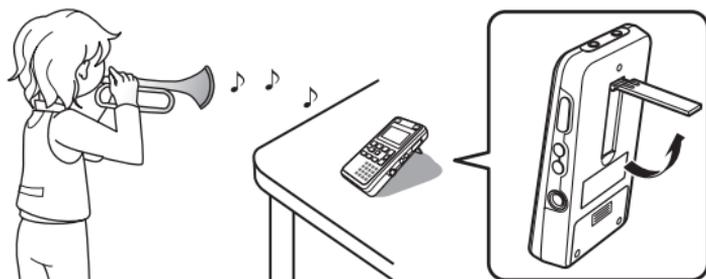
- **ライン/マイク入力端子**を使って録音するときは、つないだ機器に合わせて外部入力の設定をしてください(→34)。正しく設定されていないと、つないだ機器の故障の原因となることがあります。
- ハウリングする(スピーカーから「キー」という音が出る)ときは、マイクを本機から離すか、本機の音量を下げてください。

## 録音する前に(つづき)

### ◆ 録音の準備をする

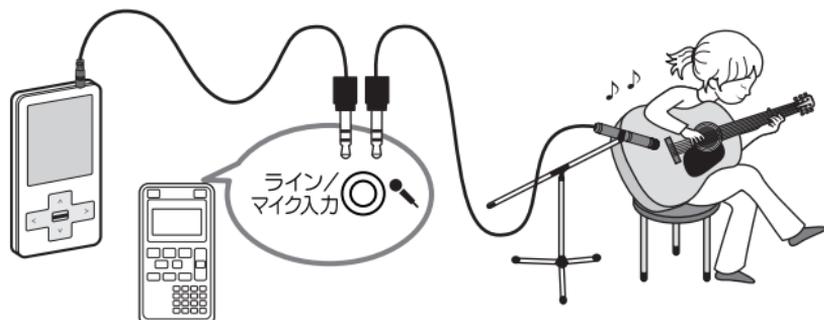
本機の内蔵マイクを使って録音するとき

- ・ 内蔵マイクを演奏者に向けて、本機のスタンドを立てて置きます。



外部機器やステレオマイクをつないで録音するとき

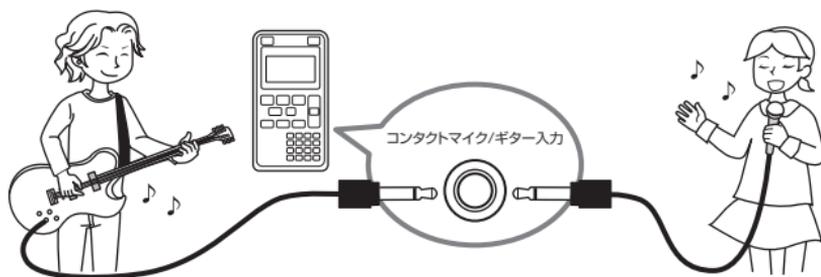
- ・ 接続する機器に合わせて、外部入力の設定を切り換えてください(→34)。



### ご注意

- ・ ライン/マイク入力端子にモノラルプラグで機器をつないで録音すると、左チャンネルのみに音声録音されます。

## 電気楽器やモノラルマイクをつないで録音するとき



### お知らせ

- 電気楽器は、エフェクターを通してつなげます。
- コンタクトマイク/ギター入力端子はモノラルです。モノラルプラグまたはステレオプラグのどちらで機器をつないでも、左右のチャンネルに同じ音声録音されます。
- コンタクトマイク/ギター入力端子は、プラグインパワーには対応していません。

# 録音の設定をする

## ◆ 外部入力設定を切り換える

ライン/マイク入力端子を使って録音するとき、つないだ機器に合わせて外部入力の設定を切り換えます。

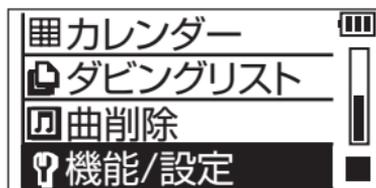
### ご注意

- 外部入力を正しく設定していないと、つないだ外部機器やマイクの故障の原因となることがあります。ライン/マイク入力端子に機器をつなぐときは、必ず設定を確認してください。

### 1 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

### 2 ▲/▼ ボタンを押して「機能/設定」を選び、決定ボタンを押す



### 3 ▲/▼ ボタンを押して「録音設定」を選び、決定ボタンを押す



4 ▲/▼ ボタンを押して「外部入力」を選び、  
決定ボタンを押す

5 ▲/▼ ボタンを押して入力を選ぶ



ライン (🎧)	ライン/マイク入力端子に、外部機器をつなぐときに選びます。(お買い上げ時の設定)
マイク (🎤)	ライン/マイク入力端子に、電池内蔵のステレオマイクなど、プラグインパワー非対応のマイクをつなぐときに選びます。
マイク(プラグ インパワー) (🎤)	ライン/マイク入力端子に、プラグインパワー方式のステレオマイクをつなぐときに選びます。

6 決定ボタンを押す

設定が終わり、メニューに戻ります。

## 録音の設定をする(つづき)

### ◆ 録音品質を設定する

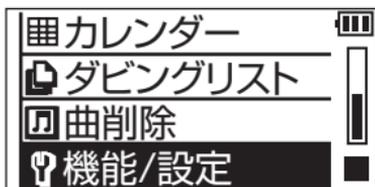
通常の録音をするときは、録音の前に録音品質の設定をします。

- 重ね録音をするときは、この設定は必要ありません。

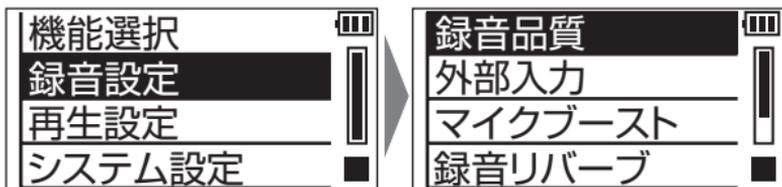
#### 1 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

#### 2 ▲/▼ ボタンを押して「機能/設定」を選び、決定ボタンを押す

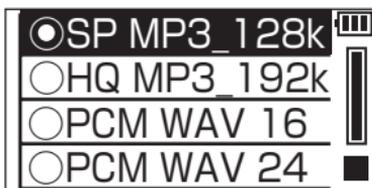


#### 3 ▲/▼ ボタンを押して「録音設定」を選び、決定ボタンを押す



#### 4 「録音品質」が選ばれているのを確認して、決定ボタンを押す

## 5 ▲/▼ ボタンを押して録音品質を選ぶ



SP MP3_128k	MP3形式で、標準の音質で録音します。(お買い上げ時の設定)
HQ MP3_192k	MP3形式で、高音質で録音します。
PCM WAV 16	WAV形式(48kHz/16bit)で録音します。圧縮しないので、MP3形式よりも高音質です。
PCM WAV 24	WAV形式(48kHz/24bit)で録音します。もっとも高音質です。

## 6 決定ボタンを押す

設定が終わり、メニューに戻ります。

### お知らせ

- 録音品質設定による収録時間のめやすは、152ページをご覧ください。

# 録音する

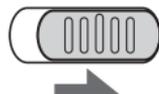
## ご注意

- 録音中はmicroSDカードを抜かないでください。ファイルが破損する原因となることがあります。
- 録音中にライン/マイク入力端子またはコンタクトマイク/ギター入力端子からプラグを抜くと、録音が停止します。
- ライン/マイク入力端子またはコンタクトマイク/ギター入力端子にプラグをつなぐと、内蔵マイクは動きません。

## お知らせ

- 録音中は録音感度(→ 39、45)の設定を切り換えられません。「Semi-Auto」または「Manual」を選んだときの、感度の調節はできます。
- 録音感度(→ 39、45)は、「機能/設定」の「録音設定」から、「録音感度」または「重ね録音感度」を選んで設定することもできます(→ 123)。
- WAV形式で録音するときは、リバーブ(残響効果)を設定できます(→ 122)。
- 電源/ホールドスイッチを「ホールド」側にすると、ボタン操作が無効になり、本機を手で持ちながら録音するときの誤操作を防げます。

電源 ← 「ホールド」





## 録音する(つづき)

- 内蔵マイクや外部ステレオマイクを使っているときは、ヘッドホンで音声を聞くことができます。
- 電気楽器、モノラルマイク、または外部機器をつないでいるときは、スピーカーまたはヘッドホンで音声を聞くことができます。  
つないでいる機器の音量も調節してください。

Auto [MUSIC]	音源の音量に応じて、自動的に感度を調節します。音楽や楽器演奏を録音するときに選びます(お買い上げ時の設定)。
Auto [VOICE]	大きな音から小さな音まで、均一な音量で録音します。会議などの音声を録音するときに選びます。
Semi (Semi- Auto)	大きな音に応じて、自動的に感度が下がります。(感度は自動的にには上がりません。)戻る◀◀/▶▶ボタンを押して、手動で調節することもできます。
Manu (Manual)	戻る◀◀/▶▶ボタンを押して、手動で感度を調節できます。録音レベルメーター(→48)が振り切れないように、調節します。

- 詳しくは**123**ページをご覧ください。
- マイクの感度が高すぎるまたは低すぎるときは、マイクブーストを切り換えてください。  
(→122)

### 3 もう一度、録音●II ボタンを押す

録音ランプが点灯し、録音が始まります。

- 録音中に録音●II ボタンを押すと、録音が一時停止します。もう一度押すと、録音を再開します。
- 録音中の画面については、47ページをご覧ください。

### 4 ■ ボタンを押して録音を終了する

録音した内容を聞くには

**再生▶ II ボタン**を押します。録音したばかりの楽曲が再生されます(ワンタッチ再生)。

#### お知らせ

- 同じ日付で、同じ時刻のファイルが作成されたときは、末尾に「\_S××」をつけたファイル名になります。  
例) 12\_47\_REC、12\_47\_REC\_S01
- 2GBを超えるファイルは自動で分割され、分割されたファイルは、末尾に「\_G××」をつけたファイル名になります。  
例) 12\_47\_REC、12\_47\_REC\_G01
- 録音を20時間続けると、自動的に停止します。
- A-B区間リピート再生中(→ 78)に録音●II ボタンを押すと、聴き比べレッスン(→ 87)が始まります。

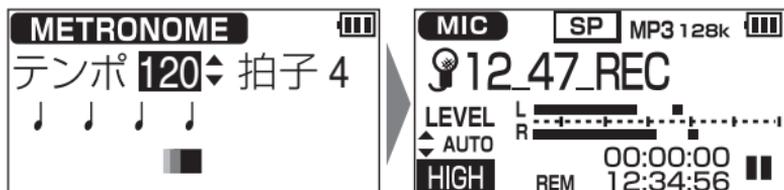
## 録音する(つづき)

### ◆メトロノーム音を入れて録音

演奏と一緒にメトロノームの音を録音できます。あとで演奏のリズムをチェックでき便利です。

#### 1 メトロノームを鳴らし、録音●II ボタンを押す

- メトロノームの使いかたは、67ページをご覧ください。
- メトロノーム音は「ビープ」以外を選んでください(→69)。



録音待機状態になり、録音ランプが点滅します。

- 必要に応じて録音感度を調節してください。
- 録音時にメトロノーム音を出さず、ランプのみ表示したいときは、音量-ボタンを押して音量を最小にしてください。(この場合も、メトロノーム音は録音されます。)

## 2 もう一度録音●II ボタンを押す

録音ランプが点灯に変わり、録音が始まります。メトロノームのリズムに合わせて演奏を始めてください。

- 録音中は入力音(モニター音)を聞くことはできません。

## 3 ■ ボタンを押して、録音を終了する

メトロノーム音が停止します。(ランプは点滅をつぶけます。)

## 4 再生▶ II ボタンを押して、録音した内容を聞く

### お知らせ

- メトロノーム音は、音量や録音感度にかかわらず一定の音量で録音されます。
- メトロノーム音を入れた録音では、録音リバーブは無効になります。
- もう一度メトロノーム音を入れて録音したいときは、手順1から操作してください。

## 録音する(つづき)

### ◆ 重ね録音

本機に保存されたWAV形式のファイルに録音を重ねます。重ね録音をすると、元のファイル名の末尾に「\_T××」をつけた名前で、元のファイルと同じフォルダに保存されます。例) 「15\_47\_REC」に重ね録音をした場合:

15\_47\_REC\_T01

### お知らせ

- WAV変換コピー(→102)をして次のようなファイルを保存すると、保存したファイルに重ね録音ができます。
  - 音程の調節(→83)やパートキャンセル(→85)をしたファイル
  - MP3/WMA形式のファイル

## 1 録音を重ねたい曲を再生する

- ファイルの検索・再生については、50ページをご覧ください。

## 2 重ね録音●II ボタンを押す

重ね録音の待機状態になります。

録音画面が表示され、録音ランプが点滅します。

- 待機中は手順1で選んだ曲がくり返し再生されます。**再生▶ II** ボタンを押すと一時停止します。
- 内蔵マイクや外部ステレオマイクを使っているときは、ヘッドホンで音声を聞くことができます。
- 電気楽器、モノラルマイク、または外部機器をつないでいるときは、スピーカーまたはヘッドホンで音声を聞くことができます。

- 録音を中止するときは■ボタンを押してから、**再生▶||**ボタンまたは**メニュー**ボタンを押します。(再生▶||ボタンを押すと、再生画面に戻ります。メニューボタンを押すと、メニューが表示されます。)

### 3 ▲/▼ボタンを押して録音感度を選ぶ



- 録音レベルメーターには、再生音と入力音を合わせたレベルが表示されます。
- 40ページもご覧ください。

### 4 もう一度、重ね録音●||ボタンを押す

録音ランプが点灯し、再生中の曲の頭から重ね録音が始まります。

- 重ね録音中に**重ね録音●||**ボタンを押すと、重ね録音が一時停止します。もう一度押すと、重ね録音を再開します。
- 録音中の画面については、47ページをご覧ください。

### 5 ■ボタンを押して録音を終了する

- ボタンを押さなくても、再生曲の終わりで録音は自動的に終了します。 次のページにつづく

## 録音する(つづき)

---

- 再生曲はくり返し再生されます。もう一度、同じ曲に重ね録音をするときは、**重ね録音●II** ボタンを押します。

### 重ね録音をした内容を聞くには

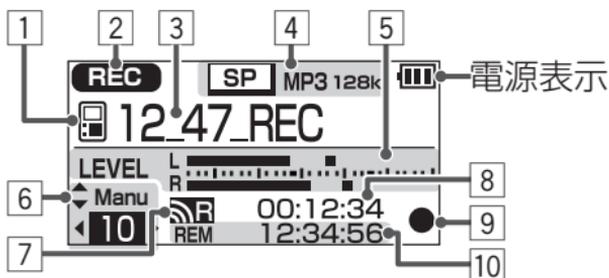
**再生▶ II** ボタンを押します。録音したばかりの楽曲が再生されます(ワンタッチ再生)。

### お知らせ

- 特殊なサンプリング周波数(32kHz~48kHz以外)で録音された曲には、重ね録音はできません。
- 重ね録音をした楽曲は、WAV形式で、再生曲と同じ量子化ビット数/サンプリング周波数で保存されます。
- 重ね録音をした楽曲は、1曲につき最大99個まで保存できます。
- 重ね録音をした曲を再生しながら、さらに録音を重ねることもできます。最大10回まで録音を重ねられます。ファイル名は、15\_47\_REC\_T01(1回め)、15\_47\_REC\_T01T01(2回め)…のようになります。
- A-B区間リピート再生中(→78)に**重ね録音●II** ボタンを押すと、くり返しの始点から重ね録音が始まります。くり返しの終点で重ね録音も終了します。
- 次の機能は、重ね録音中には働きません。
  - スピードコントロール(→82)
  - キーコントロール(→83) – パートキャンセル(→85)
  - イコライザ(→126) – はっきりスピーカ(→128)
  - はっきりヘッドホン(→129)

# 録音画面

例：通常の録音のときの画面



## 1 入力ソース表示

- : 内蔵マイク
- : コンタクトマイク/ギター入力端子
- または : ライン/マイク入力端子 (表示は、外部入力の設定によって変わります。)(→34)

## 2 録音の種類(REC:通常の録音/+REC:重ね録音)

## 3 録音しているファイル名

## 4 録音品質

- 重ね録音のときは、再生ファイルの状態が表示されます。



▶ (再生中)、|| (一時停止)

## 5 録音レベルメーター(→48)

## 6 録音感度

## 7 録音リバーブ設定(→122)

## 8 録音経過時間

## 9 ● (録音中)、|| (録音待機)、■ (停止)

## 10 microSDカードに録音できる残り時間

## 録音画面(つづき)

### ◆ 録音レベルメーターの見かた

レベルメーターが振り切れない範囲で感度を高く設定することで、ひずみとノイズの少ない録音ができます。



- **コンタクトマイク/ギター入力**端子を使った録音では、「L」と「R」の入力レベルが同じになります。
- 入力レベルが高すぎると、表示窓の上のランプが赤く点灯します。(メトロノーム使用時はメトロノームランプとして働くため、入力レベルが高くても点灯しません。)



- マイクの感度が低いときは、マイクブーストを切り換えてください。
  - 1 ■ ボタンを押してから**メニュー**ボタンを押す
  - 2 「機能/設定」の「録音設定」から、「マイクブースト」を選んで「ブーストオン」にする詳しくは**122**ページをご覧ください。

# 再生する

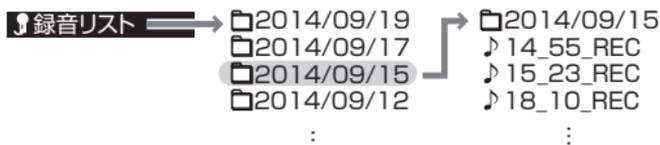
リスト検索.....	50
• ファイルの選びかた.....	51
カレンダー検索 .....	52
再生画面 .....	54
再生中の操作 .....	55
入力音と再生音を一緒に聞く.....	56

# リスト検索

録音した楽曲ファイルやパソコンから取り込んだ音楽ファイルを、フォルダまたはリストから探すことができます。

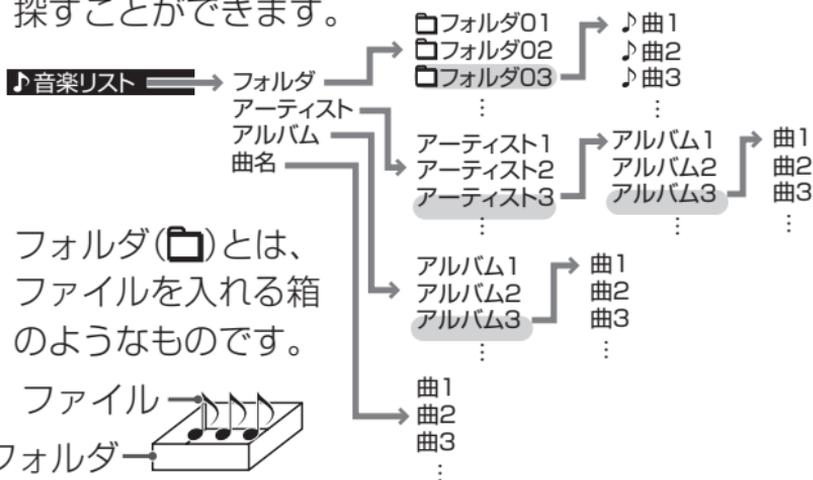
## ・録音した楽曲ファイルを探すとき:

メニューの「録音リスト」から探します。録音リストでは、録音日のフォルダが日付の新しい順に、その中の楽曲ファイルは録音時刻の早い順に表示されます。

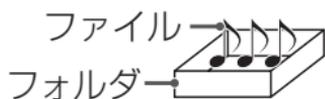


## ・パソコンから取り込んだ音楽ファイルを探すとき:

メニューの「音楽リスト」から探します。タグ情報があるファイルは、タグ情報をもとにしたリストから探すことができます。



・フォルダ(📁)とは、ファイルを入れる箱のようなものです。



## お知らせ

- タグ情報とは、音楽ファイルに書き込まれた演奏者(アーティスト)、アルバム名、曲名などの情報です。タグ情報がないときは「フォルダ」からファイル名で探します。

### ◆ ファイルの選びかた

#### 1 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

#### 2 ▲/▼ ボタンを押して「録音リスト」または「音楽リスト」を選び、決定ボタンを押す

#### 3 ▲/▼ ボタンを押してフォルダまたはリストを選び、決定ボタンを押す

- 再生したいファイルが表示されるまで、同じ操作をくり返します。

#### 4 ▲/▼ ボタンを押してファイルを選び、決定ボタンを押す

選んだファイルから、リストに表示されている順に再生されます。

次のページにつづく

## リスト検索(つづき)

### お知らせ

- 選んだフォルダ/リストの最後のファイルの再生が終わると、そのフォルダ/リストの最初の曲に戻り、再生は停止します。
- 選んだフォルダ/リストにファイルがないときは、「ファイルがありません」と表示されます。
- 再生中の画面と操作については、54、55ページをご覧ください。

## カレンダー検索

本機で録音した楽曲ファイルを、カレンダーの日付から探します。

- 「録音リスト」に保存されているファイルのみ、探すことができます。

### 1 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

### 2 ▲/▼ボタンを押して「カレンダー」を選び、決定ボタンを押す

録音した楽曲がある日付(下線で表示)

🎵 音楽リスト	📅 カレンダー
🎧 チューナー	
🕒 メトロノーム	
📅 カレンダー	

	日	月	火	水	木	金	土
2014	31	<u>1</u>	2	3	<u>4</u>	5	<u>6</u>
10	7	<u>8</u>	9	10	<u>11</u>	12	<u>13</u>
9	14	<u>15</u>	16	<u>17</u>	18	<u>19</u>	20
8	21	<u>22</u>	23	<u>24</u>	25	<u>26</u>	27
7	28	<u>29</u>	30				

今日の日付(枠で表示)      カーソル

## カレンダー検索(つづき)

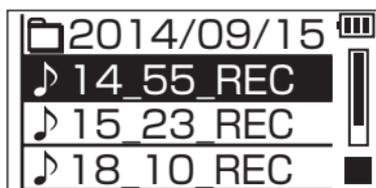
---

### 3 録音日を選ぶ

- 月を選ぶ: **戻る** ◀◀ / ▶▶ ボタンを押す
- 録音日を選ぶ: ▲ / ▼ ボタンを押してカーソルを移動させる(録音した楽曲がある日付のみ、選ぶことができます。)

### 4 決定ボタンを押す

録音時刻の早い順に楽曲ファイルが表示されます。

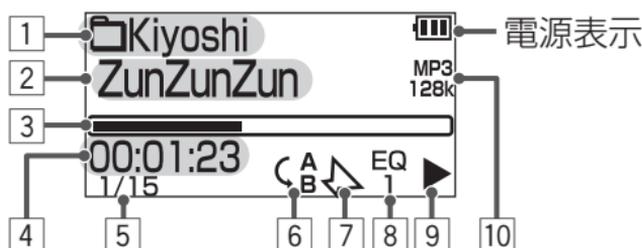


### 5 ▲ / ▼ ボタンを押して楽曲ファイルを選び、決定ボタンを押す

再生が始まります。

- 選んだ録音日フォルダの最後のファイルの再生が終わると、そのフォルダの最初の曲に戻り、再生は停止します。
- 再生中の画面と操作については、54、55ページをご覧ください。

# 再生画面



- 1 フォルダ/リストの種類 (□: フォルダ/●: アルバム/Ⓜ: アーティスト)
  - 音楽ファイルを「曲名」から選んだときは、アーティスト名が表示されます。
- 2 曲名(ファイル名)
- 3 再生経過表示
- 4 再生経過時間(または再生残り時間)
- 5 再生中の曲の番号/フォルダ(またはリスト)総曲数
- 6 リpeat再生表示 (C<sup>1</sup>: 1曲/C<sup>∞</sup>: 全曲/C<sup>A/B</sup>: A-B区間) (→76、78)
- 7 音声出力/設定表示
  - : スピーカー表示(「はっきりスピーカ」設定時は表示になります)
  - : ヘッドホン表示(「はっきりヘッドホン」設定時は表示になります)
- 8 イコライザ設定(EQ 1/2/3)(→126)
- 9 ▶ (再生中)、|| (一時停止)、■ (停止)、▶▶ (早送り)、◀◀ (早戻し)、▷ (再生中でパートキャンセルが「オン」のとき)
- 10 ファイルの種類とビットレート

## 再生中の操作

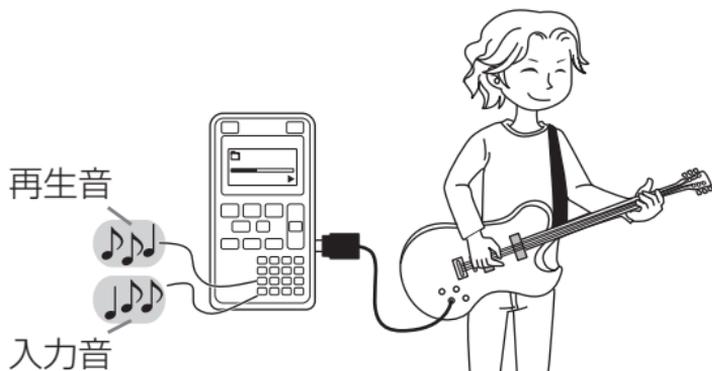
操作	押すボタン
再生、 一時停止	再生▶    ボタン
音量調節	音量+-ボタン、 ▲ / ▼ ボタン
次の曲の頭出し	▶▶  ボタン
再生中の曲の 頭出し	戻る ◀◀ ボタン
前の曲の頭出し	戻る ◀◀ ボタンをつづけて2 回押す
早送り	▶▶  ボタンを押しつづける
早戻し	戻る ◀◀ ボタンを押しつづ ける
再生を止める	■ ボタン
再生経過時間と再生 残り時間の表示を切 り換える	決定 ボタン
一つ前の画面に戻る	メニューボタンを押しつづ ける

## 入力音と再生音を一緒に聞く

コンタクトマイク/ギター入力端子に電気楽器をつないで、入力音と再生音を一緒に聞くことができます（ミキシング再生）。

「録音リスト」または「音楽リスト」から曲を選んで再生し、再生音に合わせて楽器を演奏してください。

- 音声は本機のスピーカーまたはヘッドホンで聞くことができます。
- 再生音に合わせて楽器の音量を調節してください。（本機で入力感度の調節はできません。）



# チューニング する

- 楽器をチューニングする ..... 58
  - ・ クロマチックチューナー ..... 58
  - ・ チューニングトーン ..... 62
  - ・ チューニング中に  
メトロノームを鳴らす ..... 64

# 楽器をチューニングする

本機では、2通りのチューニングができます。

- **クロマチックチューナー**

本機に入力された楽器の音と基準音とのずれを、画面とランプでお知らせします。

- **チューニングトーン**

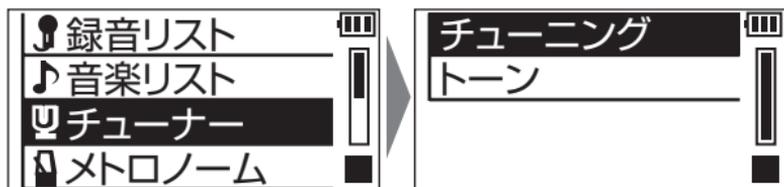
本機から出る各音の基準音を聞きながら、チューニングします。

## ◆ クロマチックチューナー

### 1 メニューボタンを押す

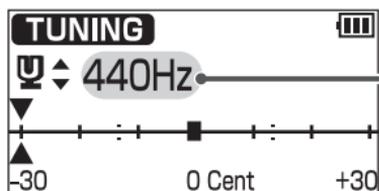
メニューが表示されます。

### 2 ▲/▼ ボタンを押して「チューナー」を選び、決定ボタンを押す



### 3 「チューニング」が選ばれているのを確認して、決定ボタンを押す

## 4 ▲/▼ ボタンを押して基準となる音の高さを選ぶ



基準となる音の高さ  
(A音の周波数)

- 選べる範囲:  
410Hz~480Hz

## 5 楽器を単音で鳴らす

画面に合わせたい音が表示されるよう、おおまかにチューニングします。

- 内蔵マイクを使っているときは、雑音の少ない場所で、できるだけ楽器をマイク(L側)に近づけてください。
- コンタクトマイク、電気楽器、または外部マイクを本機につないでチューニングすることもできます。(このとき、本機の内蔵マイクは動きません。)

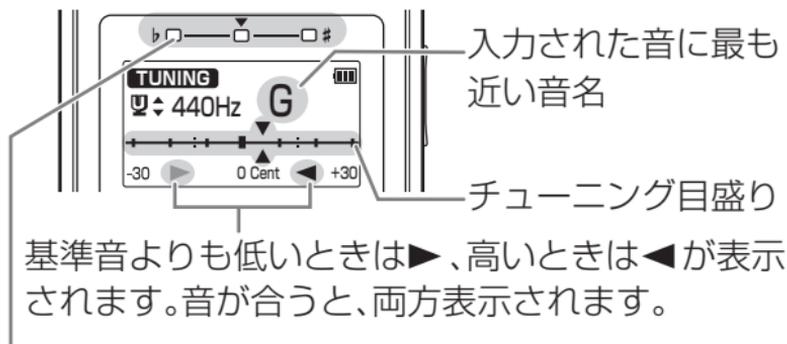


次のページにつづく

## 楽器をチューニングする(つづき)

### 6 チューニング目盛りとランプを見ながら チューニングする

例:楽器の音(G音)が、目標(基準音)より少し高いとき



音のずれ	ランプ	b	▼	#	
低い		●	○	○	
やや低い		●	◐	○	
なし(ぴったり)		○	◐	○	●:点灯(赤)
やや高い		○	◐	●	◐:点灯(緑)
高い		○	○	●	○:消灯

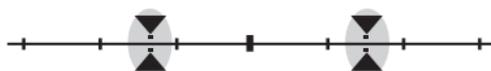
#### G音が基準音にぴったり合ったときのランプと表示例



- 他の音も同様にチューニングしてください。
- チューニングが終わったら、**メニュー**ボタンを押してメニューに戻ります。

## お知らせ

- 本機のチューニングの基準は、ピアノなどの調律に使う平均律です。純正律でチューニングするときは、長3度および短3度の音を図のように合わせてください。



長3度(-13.7Cent)

短3度(+15.6Cent)

- 倍音を多く含む音色や減衰が速い楽器音などは、測定できない場合があります。
- 電気楽器を本機につないでチューニングするときは、楽器の音量を調節してください。
- 電気楽器をつなぐときは、エフェクターなどを通さずに、直接つないでください。

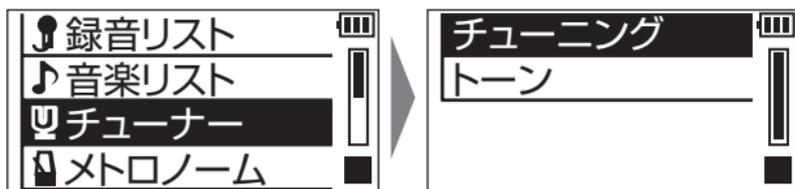
## 楽器をチューニングする(つづき)

### ◆チューニングトーン

#### 1 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

#### 2 ▲/▼ボタンを押して「チューナー」を選び、決定ボタンを押す



#### 3 ▼ボタンを押して「トーン」を選び、決定ボタンを押す

本機から基準音が聞こえます。

#### 4 ▲/▼ボタンを押して、A音の周波数を選ぶ



A音の周波数

• 選べる範囲:

410Hz~480Hz

## 5 ▶▶ ボタンを押して、カーソルを「音名」に移動する



## 6 ▲/▼ ボタンを押して、音名を選ぶ

手順4で選んだA音の周波数を基準にして、選んだ音が本機から聞こえます。

• 次の音名が選べます。

C ↔ C# ↔ D ↔ E $\flat$  ↔ E ↔ F ↔ F# ↔  
G ↔ G# ↔ A ↔ B $\flat$  ↔ B ↔ C 8va ↔  
C# 8va ↔ D 8va ↔ E $\flat$  8va ↔ E 8va ↔  
F 8va ↔ F# 8va ↔ G 8va ↔ G# 8va ↔  
A 8va ↔ B $\flat$  8va ↔ B 8va ↔ 始めに戻る  
(「8va」はオクターブ上を表します。)

## 7 楽器をチューニングする

- ほかの音を合わせるときは、手順6と7をくり返します。
- **音量+** ボタンで、基準音の音量を調節できます。
- 基準音を止めるには、**決定**ボタンまたは■ボタンを押します。再開するには、**決定**ボタンまたは**再生▶** || ボタンを押します。

## 楽器をチューニングする(つづき)

◆チューニング中にメトロノームを鳴らす  
ロングトーンの練習や、音程を保ったままリズムト  
レーニングをしたいときに便利です。

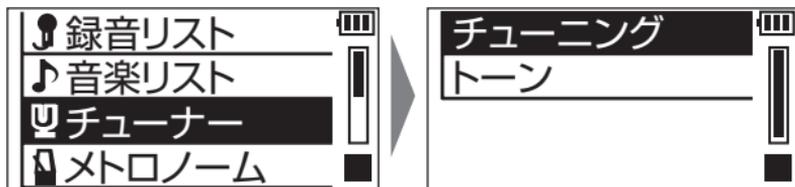
### 1 メトロノームの設定をする

- ・メトロノームの使いかたは、67ページをご覧ください。

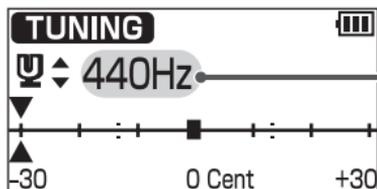
### 2 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

### 3 ▲/▼ ボタンを押して「チューナー」を選 び、決定ボタンを押す



### 4 「チューニング」が選ばれているのを確認 して、決定ボタンを押す



必要に応じて、▲/▼  
ボタンを押して基準  
音の高さを調節して  
ください。

## 5 再生▶|| ボタンを押す

手順**1**で設定したメトロノームの音が鳴ります。

- メトロノームは、■ ボタンで停止、音量+/- ボタンで音量調節ができます。

### お知らせ

- チューニング中のメトロノーム音は「ビープ(電子音)」に固定されます。
- メトロノームの音量が大きいと、チューナーがメトロノームの音に反応してしまうことがあります。その場合は、ヘッドホンをご使用ください。



# メトロノーム を使う

- メトロノームを使う ..... 67
- リズム音を変える ..... 69
  - 特殊な拍子に設定する ..... 71
  - 1拍ごとにパターンを設定する... 73

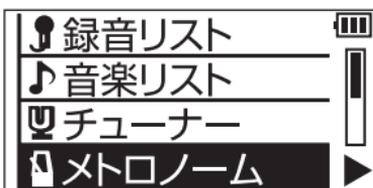
# メトロノームを使う

本機をメトロノームとして使うことができます。

## 1 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

## 2 ▲/▼ボタンを押して「メトロノーム」を選び、決定ボタンを押す



## 3 ▲/▼ボタンを押してテンポを調節する



調節できる範囲: ♩ =  
ララルギッシモ  
30 (LARGHISSIMO) ~  
ブレスティッシモ  
250 (PRESTISSIMO)

## 4 ▶▶ボタンを押してカーソルを「拍子」に移動する

次のページにつづく

## メトロノームを使う(つづき)

### 5 ▲/▼ ボタンを押して拍子を選ぶ



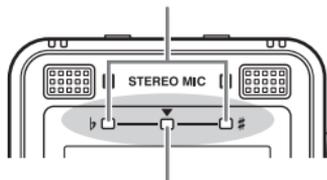
選べる範囲：  
0拍子～7拍子

- ・裏拍をとりたいときや、変拍子などで拍子をとりにくいときは、0拍子を選んでください。

### 6 決定ボタンを押す

本機からリズム音が聞こえ、リズムに合わせてランプが光ります。

赤いランプが一拍ずつ交互に光ります



緑色のランプが拍子の一拍めで光ります  
(0拍子のときは光りません)

- ・ **音量+** ボタンで、リズム音の音量を調節できます。
- ・ メトロノームを止めるには、**決定** ボタンまたは **■** ボタンを押します。再開するには、**決定** ボタンまたは **再生▶ ||** ボタンを押します。

## お知らせ

- メトロノーム使用中に録音●|| ボタンを押すと、メトロノームを使いながら録音できます(→42)。録音中は、リズム音は鳴らずに、光るランプでリズムをお知らせします。
- リズム音は4種類から選ぶことができます。

## ◆ リズム音を変える

### 1 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

### 2 ▲/▼ボタンを押して「機能/設定」を選び、決定ボタンを押す

### 3 ▲/▼ボタンを押して「システム設定」を選び、決定ボタンを押す

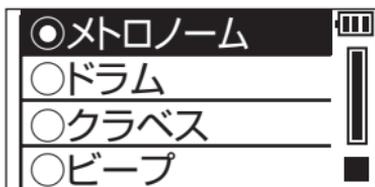


次のページにつづく

## メトロノームを使う(つづき)

4 「メトロノーム音」が選ばれているのを確認して、**決定**ボタンを押す

5 ▲/▼ボタンを押してメトロノームのリズム音を選び、**決定**ボタンを押す



メトロノーム	通常のメトロノーム音でリズムを刻みます(お買い上げ時の設定)。
ドラム	ドラム音でリズムを刻みます。
クラベス	クラベス音でリズムを刻みます。
ビープ	「ピッポッポッ…」という電子音でリズムを刻みます

メニューに戻ります。

- リズム音を確認するには、**メニュー**ボタンを押してから「メトロノーム」を選んで**決定**ボタンを押し、**■**ボタンを押します。

## ◆ 特殊な拍子に設定する

0～7拍子に加えて、8分音符や3連符などに設定できます。

### 1 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

### 2 ▲/▼ ボタンを押して「メトロノーム」を選び、決定ボタンを押す

### 3 戻る◀◀/▶▶ ボタンを押して、拍子にカーソルを合わせる

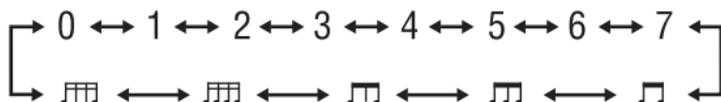


- 必要に応じてテンポを調節してください。

次のページにつづく

## メトロノームを使う(つづき)

### 4 ▲/▼ ボタンを押して、拍子を選ぶ



表示	内容
0~7	0~7拍子(4分音符)
	1拍2連(8分音符)
	1拍3連
	1拍3連中抜き(シャッフル)
	1拍4連(16分音符)
	1拍4連中抜き

### 5 決定ボタンを押して、メトロノームを鳴らす

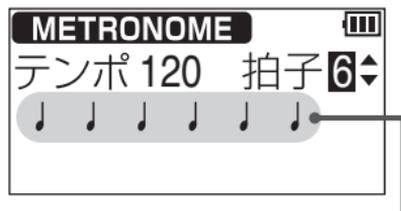
## ◆ 1拍ごとにパターンを設定する

1拍ごとにパターンを設定できます。シンコペーションや2拍3連の練習にも便利です。

### 1 メトロノームの画面で戻る|◀◀/▶▶|ボタンを押し、拍子にカーソルを合わせる



### 2 ▲/▼ボタンを押して、0~7拍子を選ぶ



拍子の数だけ♪マークが表示されます。

次のページにつづく



# 便利な機能

くり返し聞く.....	76
一部分をくり返し聞く.....	78
一瞬の音をくり返し聞く.....	80
再生速度を変える.....	82
音程を変える.....	83
ギターやボーカルの音を低減する...	85
くり返し練習する.....	87
頭出しマークをつける.....	89
• 頭出しマークを解除する.....	90
一部分を保存する.....	92
音声タイトル機能を使う.....	94
• 音声タイトルを録音する.....	94
• 音声タイトルを変更する.....	95
曲をダビングする.....	98
調節した曲を保存する.....	102

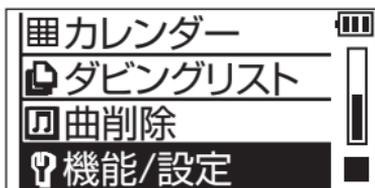
## くり返し聞く(1曲リピート、全曲リピート)

同じ曲やすべての曲をくり返し再生できます。

### 1 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

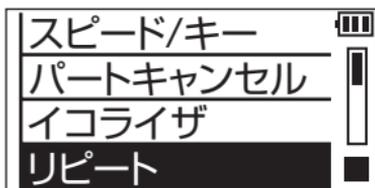
### 2 ▲/▼ボタンを押して「機能/設定」を選び、決定ボタンを押す



### 3 ▲/▼ボタンを押して「再生設定」を選び、決定ボタンを押す



### 4 ▲/▼ボタンを押して「リピート」を選び、決定ボタンを押す



## 5 ▲/▼ボタンでくり返しの種類を選び、決定ボタンを押す



オフ	くり返しをやめます(お買い上げ時の設定)。
1曲リピート	1曲をくり返します。再生画面に  が表示されます。
全曲リピート	再生しているフォルダ/リストのすべての曲をくり返します。再生画面に  が表示されます。

メニューに戻ります。

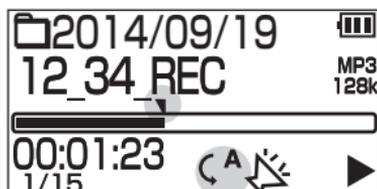
- ・再生画面に戻るには、**再生▶ ||** ボタンを押します。

## 一部分をくり返し聞く (A-B区間リピート)

曲の再生中に、曲の一部(「サビ部分だけ」など)をくり返して再生できます。

**1** 曲を再生する

**2** くり返しの始点(A点)で**A-B**⇐/削除ボタンを押す



**3** くり返しの終点(B点)で**A-B**⇐/削除ボタンを押す

- A点とB点の間隔は、2秒以上あけてください。
- B点を指定しないと、A点から曲の終わりまでがくり返し再生されます。(A点から曲の終わりまでが2秒以下のときは、A-B区間リピートはできません。)



指定した部分がくり返し再生されます。

- A-B区間リピートをやめるには、もう一度 **A-B**⇨/削除 ボタンを押します。

## お知らせ

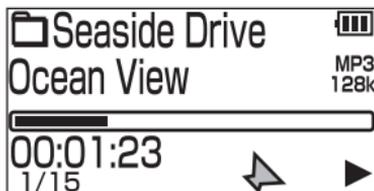
- 曲をまたいでのA-B区間リピートはできません。
- 戻る|◀◀/▶▶| ボタンで頭出しをしたり別の曲を選ぶと、A-B区間リピートは解除されます。
- A-B区間リピートで指定した部分だけを、別のファイルとして保存できます(A-B区間コピー)(→92)。
- A-B区間リピートで指定した部分だけに、重ね録音をすることができます(→44)。
- A-B区間リピートで指定したフレーズをお手本にして、同じ部分の練習を録音できます。録音したあとは、お手本と練習を聴き比べることができます。
  - 1 お手本にするフレーズを決めて、A-B区間リピート再生をする
  - 2 メニューを表示させて、「機能/設定」の「機能選択」から、「聴き比べレッスン」を選ぶ  
お手本のフレーズが始めから再生されます。
    - 「ピッ」と音が鳴ったら、練習の録音を始めてください。
    - 録音が終わると「ピピッ」と音が鳴り、お手本と練習が交互に再生されます。

「聴き比べレッスン」について詳しくは、87ページをご覧ください。

# 一瞬の音をくり返し聞く

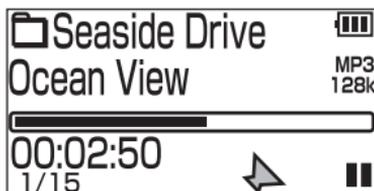
ボタンを押した瞬間の音をくり返して再生できます。曲の中のある一瞬の音を聞き取りたいときに便利です。

## 1 曲を再生する



- あらかじめ再生スピードを遅くしておく、ボタンを押すタイミングがつかみやすくなります(→82)。

## 2 くり返し聞きたいところで再生▶|| ボタンを押しつつける



ボタンを押し始めた瞬間の音がくり返し再生されます。

- 次の各ボタンで、くり返す音を調節できます。
  - 戻る|◀◀/▶▶|ボタン: くり返す位置
  - ▲/▼ボタン: くり返す区間の長さ(5段階、▲:長く/▼:短く)

- 
- ・ **再生▶||** ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

## お知らせ

- ・ 一瞬の音をくり返すため、故障したような音に感じられる場合がありますが、故障ではありません。
- ・ **戻る|◀◀/▶▶|** ボタンでくり返す位置を移動する場合、内部の信号処理のため1秒移動するごとに音が途切れれます。

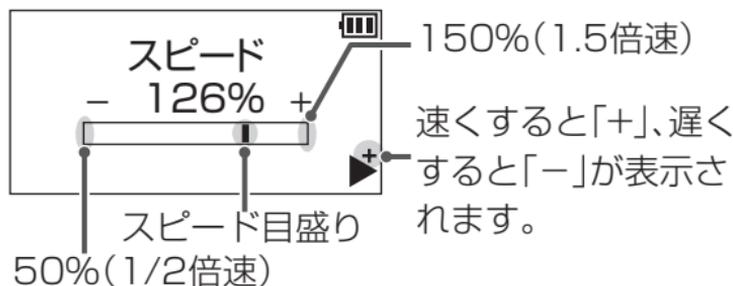
## 再生速度を変える(スピードコントロール)

キー(音の高さ)を変えずに、曲を速く再生したり、遅く再生したりできます。

- この機能を使うには、「機能/設定」の「再生設定」から「スピード/キー」を選んで、あらかじめ「スピード」に設定します(→125)。(お買い上げ時は、「スピード」に設定されています。)
- この機能は、特殊なサンプリング周波数(32kHz～48kHz以外)で録音された曲には働きません。

### 再生中にスピード/キー+/-ボタンを押す

- 速くする: **スピード/キー+**ボタン(～150%)
- 遅くする: **スピード/キー-**ボタン(～50%)



- 通常の再生速度に戻すときは、「100%」に合わせてください。

## お知らせ

- スピードが106%以上のときは、次の機能は働きません。
  - パートキャンセル(→85)
  - はっきりスピーカ(→128)
  - はっきりヘッドホン(→129)
- 次のときは、通常の再生速度に戻ります。
  - 曲が変わったとき
  - **スピード/キー＋**ボタンの設定(→125)を、「スピード」から「キー(半音)」または「キー(1/10半音)」に変えたとき

## 音程を変える(キーコントロール)

再生速度を変えずに、音程を高くしたり、低くしたりできます。

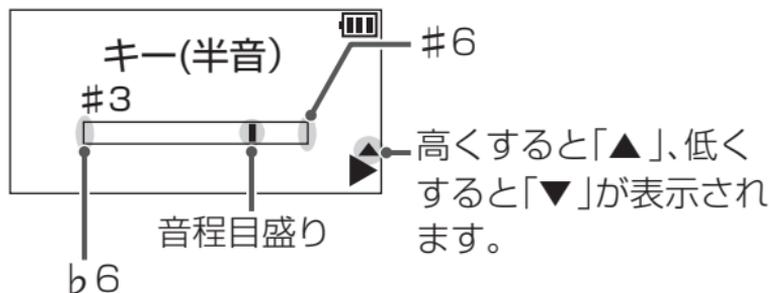
- この機能を使うには、「機能/設定」の「再生設定」から「スピード/キー」を選んで、あらかじめ「キー(半音)」または「キー(1/10半音)」に設定します(→125)。(お買い上げ時は、「スピード」に設定されています。)
- この機能は、特殊なサンプリング周波数(32kHz～48kHz以外)で録音された曲には働きません。

次のページにつづく

## 音程を変える(キーコントロール)(つづき)

### 再生中にスピード/キー+/-ボタンを押す

- 高くする: **スピード/キー+**ボタン(~#6)
- 低くする: **スピード/キー-**ボタン(~b6)



- 通常の音程に戻すときは、音程目盛りを中央に合わせてください。

### お知らせ

- 次のときは、通常の音程に戻ります。
  - 曲が変わったとき
  - **スピード/キー+**ボタンの設定(→125)を、「スピード」に変えたとき
- 音程を変えた状態で、別のファイルとして保存できます(WAV変換コピー)(→102)。  
音程を変えた状態で保存したファイルに、録音を重ねることができません(→44)。

## ギターやボーカルの音を低減する(パートキャンセル)

選んだポジションの音を低減して再生します。  
たとえば、ボーカルの音を小さくして、カラオケの伴奏曲として使うことができます。

- この機能は、特殊なサンプリング周波数(32kHz～48kHz以外)で録音された曲には働きません。

### 1 曲を再生する

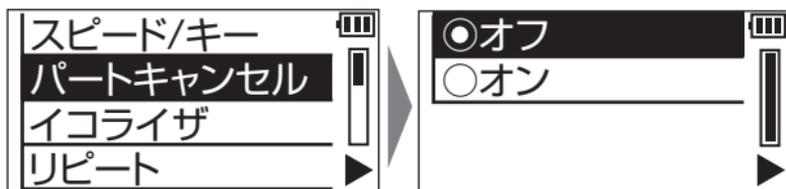
### 2 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

### 3 ▲/▼ ボタンを押して「機能/設定」を選び、決定ボタンを押す

### 4 ▲/▼ ボタンを押して「再生設定」を選び、決定ボタンを押す

### 5 ▲/▼ ボタンを押して「パートキャンセル」を選び、決定ボタンを押す



### 6 ▼ ボタンを押して「オン」を選び、決定ボタンを押す

ポジション選択画面が表示されます。

次のページにつづく

## ギターやボーカルの音を低減する(パートキャンセル)(つづき)

7 戻る◀◀/▶▶ボタンを押して低減したいポジションに合わせて、**決定**ボタンを押す

- ・「L」(左)と「R」(右)は、それぞれ10段階で調節できます。
- ・「C」(センター)に合わせて、メインパートの音を低減します。



- ・ **決定**ボタンを押すと、メニューに戻ります。再生画面に戻るには、**再生▶||**ボタンを押します。

- ・ 解除するときは手順6で「オフ」を選びます。

### お知らせ

- ・ 曲によっては、音が低減しにくいことがあります。
- ・ 音を低減した状態で、別のファイルとして保存できます(WAV変換コピー)(→102)。  
音を低減した状態で保存したファイルに、録音を重ねることができません(→44)。
- ・ 曲が変わると、「オフ」に戻ります。

## くり返し練習する(聴き比べレッスン)

お手本再生につづけて練習を録音し、お手本と練習を聴き比べられます。くり返し練習できるので、集中して練習したいフレーズがあるときに便利です。

### お知らせ

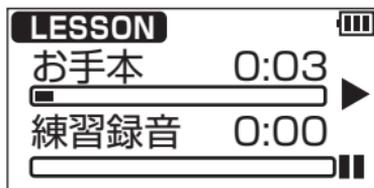
- 再生速度(→82)または音程(→83)を変えた状態の曲をお手本にすることもできます。聴き比べレッスンを終了すると、通常の方法または音程に戻ります。
- 聴き比べレッスンを始めると、パートキャンセル(→85)は「オフ」になります。

### 1 お手本にしたいフレーズを決める

- 78ページの手順に従って、お手本にしたいフレーズでA-B区間リピート再生をします。

### 2 録音●|| ボタンを押す

「ピピッ」と音が鳴り、お手本にするフレーズの再生が始まります。録音ランプが点滅します。



- 再生が終わると「ピッ」と音が鳴り、録音ランプが点灯に変わります。録音が始まります。

次のページにつづく

## くり返し練習する(聴き比べレッスン)(つづき)

### 3 演奏を始める



- ・練習は、お手本の再生時間よりも約10%長く録音できます。たとえば、お手本が1分の場合、1分6秒たつと練習録音は自動で終わります。(早めに録音を終えるときは、■ボタンを押します。)録音が終わると、「ピピッ」と音が鳴り、お手本と練習が交互に再生されます。

#### もう一度録音するときは

手順**2**と**3**をくり返して、何度でも練習できます。

#### お手本と練習の再生を切り換えるには

▶▶Iボタンを押します。

- ・お手本または練習の再生中は、一時停止、停止、早送り/早戻しなどの操作もできます。

#### 聴き比べレッスンをやめるには

メニューボタンまたはA-B◀/削除ボタンを押します。

- ・再生▶ II ボタンを押すと、再生画面に戻ります。
- ・聴き比べレッスンを終了すると、練習の録音は自動的に消去されます。

## お知らせ

- お手本のフレーズは、最長5分まで指定できます。(再生速度を変えると、指定できる時間が短くなることがあります。)
- 練習録音の録音感度は、「機能/設定」の「録音設定」から、「録音感度」を選んで変更できます(→123)。
- 「機能/設定」の「機能選択」から「聴き比べレッスン」を選んで、聴き比べレッスンを始めることもできます(→79)。このとき、フレーズ(A-B区間)を指定していないと、1曲の練習になります。

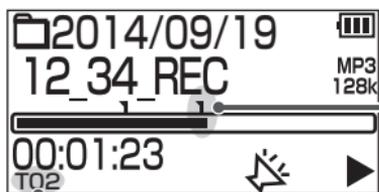
## 頭出しマークをつける(簡単頭出し)

好きなところで簡単に頭出しができるように、曲にマークをつけられます。

### 1 曲を再生する

### 2 頭出しマークをつけたいところで決定ボタンを押しつづける

- 頭出しマークが表示されたら、ボタンをはなします。



頭出しマーク

頭出しマーク番号

次のページにつづく

## 頭出しマークをつける(簡単頭出し)(つづき)

- 頭出しマークをつけると、頭出しマーク番号が3秒間表示されます。
- 複数の頭出しマークをつけるには、手順**2**をくり返します。

### お知らせ

- 頭出しマークは、1曲に99か所までつけることができます。
- 次の頭出しマークとの間は、2秒以上の間隔をあけてください。
- 頭出しマークは、解除するまで保存されます。
- 頭出しマークをつけた曲を本機でダビングすると(→98)、ダビングした曲でも頭出しが有効になります。
- 本機でつけた頭出しマークは、ほかのレッスンマスターにmicroSDカードを挿入したときも有効です。

### 頭出しするには

戻る|◀◀/▶▶|ボタンを押します。

- 戻る|◀◀/▶▶|ボタンを押すと、頭出しマーク番号が3秒間表示されます。

### ◆ 頭出しマークを解除する

曲ごとの一括解除と、個々の解除ができます。

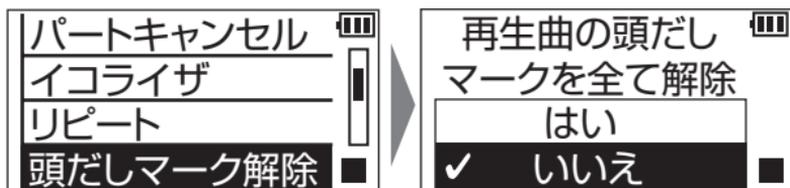
#### 曲ごとに一括で解除する

頭出しマークを解除する曲の再生中または停止中に…

#### 1 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

- ▲/▼ ボタンを押して「機能/設定」を選び、**決定ボタン**を押す
- ▲/▼ ボタンを押して「再生設定」を選び、**決定ボタン**を押す
- ▲/▼ ボタンを押して「頭だしマーク解除」を選び、**決定ボタン**を押す



- ▲ ボタンを押して「はい」を選び、**決定ボタン**を押す

頭出しマークが解除され、再生画面に戻ります。

- 「いいえ」を選ぶと、前の画面に戻ります。

再生画面に戻るには、**再生▶ ||** ボタンを押します。

### 一つずつ解除する

頭出しマークを解除する曲の**停止中**に…

**戻る◀◀/▶▶** ボタンを押して解除する頭出しマークを選び、**決定ボタン**を押し続ける

選んだ頭出しマークが解除されます。

## 一部分を保存する (AB区間コピー)

本機で録音した楽曲ファイルまたはMP3/WAV形式の音楽ファイルの一部をコピーして、別のファイルとして保存できます。



元のファイルと同じフォルダに、元のファイル名の末尾に「\_A××」をつけた名前で作成されます。

### お知らせ

- WMA形式の音楽ファイルのAB区間コピーはできません。
- 一つのファイルから、最大99回のAB区間コピーができます。
- コピーしたファイルは、元のファイルと同じフォルダに、コピーした順に保存されます。

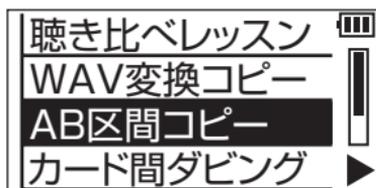
### 1 コピーする部分を決める

- 77ページの手順に従って、コピーしたい部分のA-B区間リピートをします。

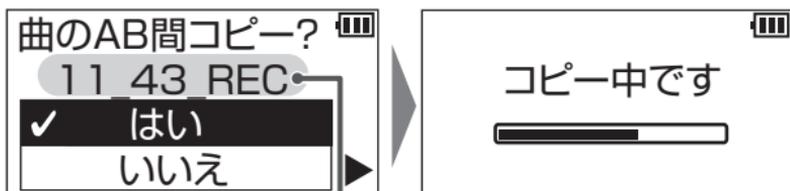
### 2 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

- 3 ▲/▼ ボタンを押して「機能/設定」を選び、**決定ボタン**を押す
- 4 「機能選択」が選ばれているのを確認して、**決定ボタン**を押す
- 5 ▲/▼ ボタンを押して「AB区間コピー」を選び、**決定ボタン**を押す



- 6 ▲ ボタンを押して「はい」を選び、**決定ボタン**を押す



コピーするファイル名

コピーが終わると、メニューに戻ります。

- 再生画面に戻るには、**再生▶ ||** ボタンを押します。

## 音声タイトル機能を使う

microSDカードを交換したときに、あらかじめ録音した音声タイトルを自動で再生することができます。一人で複数のmicroSDカードを使い分けるときや、お友だちとmicroSDカードを交換したときに、どのカードかがわかって便利です。

音声タイトルがmicroSDカードに録音されていると、次のときに音声タイトルを再生します。

- 本機の電源が入っていて、microSDカードを挿入したとき
- 別のmicroSDカードに交換して、本機の電源を入れたとき
- 電池を抜いたまましばらく放置したあとで、電源を入れたとき



### ◆ 音声タイトルを録音する

音声タイトルが録音されていないmicroSDカードを挿入すると、「音声タイトルを録音しますか?」と表示されます。

## 1 ▲ ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

録音ランプが点灯し、録音が始まります。本体のマイクに向かって、「これは鈴木花子のカードです」などと、2秒以上10秒以内で話してください。

## 2 話し終わったら、■ ボタンを押す

- ・ ■ ボタンを押さなくても、10秒たつと自動的に録音が終了します。

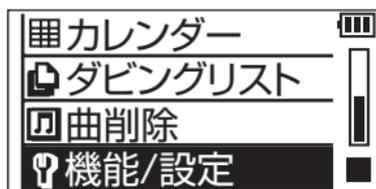
## ◆ 音声タイトルを変更する

音声タイトルの変更や削除は、「機能/設定」の「機能選択」から操作します。

### 1 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

### 2 ▲ / ▼ ボタンを押して「機能/設定」を選び、決定ボタンを押す



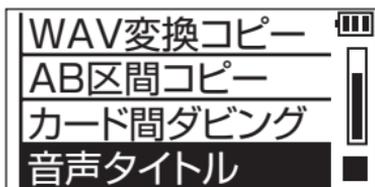
次のページにつづく

## 音声タイトル機能を使う(つづき)

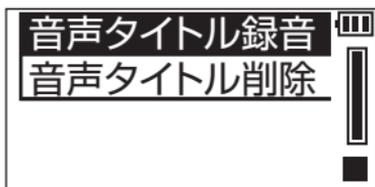
- 3 「機能選択」が選ばれているのを確認して、**決定ボタン**を押す



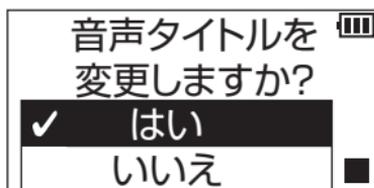
- 4 ▲ / ▼ ボタンを押して「音声タイトル」を選び、**決定ボタン**を押す



- 5 「音声タイトル録音」が選ばれているのを確認して、**決定ボタン**を押す



## 6 ▲ ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押す



録音ランプが点灯し、録音が始まります。本体のマイクに向かって「これは鈴木花子のカードです」などと話してください。

## 7 話し終わったら、■ ボタンを押す

- ・ ■ ボタンを押さなくても、10秒たつと自動的に録音が終了します。

### お知らせ

- 音声タイトルは、microSDカード1枚につき1件録音できます。
- 音声タイトルを削除するには、手順5で「音声タイトル削除」を選びます。

## 曲をダビングする

microSDカードに入っている曲(ファイル)を、パソコンを使わずにほかのmicroSDカードにダビング(コピー)することができます。

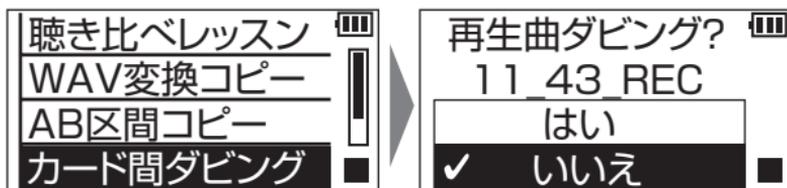


### お知らせ

- ダビング先のmicroSDカードは、あらかじめ本機でフォーマットしてください(→135)。
- 1曲ずつダビングします。一度に複数のファイルをダビングするときは、パソコンにファイルをコピーして、パソコンから別のmicroSDカードにコピーしてください(→112)。
- 頭出しマーク(→89)をつけた曲をダビングすると、ダビングした曲でも頭出しが有効になります。

- 1 **ダビングしたいファイルを再生し、停止する**
- 2 **メニューボタンを押す**  
メニューが表示されます。
- 3 **▲/▼ボタンを押して「機能/設定」を選び、決定ボタンを押す**
- 4 **「機能選択」が選ばれているのを確認して、決定ボタンを押す**

## 5 ▲/▼ ボタンを押して「カード間ダビング」を選び、決定ボタンを押す



## 6 ▲ ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

「ダビング準備中 カードを抜かないで下さい」と表示され、ダビングの準備(microSDカードから内蔵メモリーへのダビング)が始まります。ダビングの準備が終わると、「準備が完了しました。カードを交換してください」と表示されます。

## 7 microSDカードを入れ替える

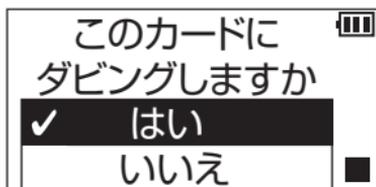
「このカードにダビングしますか」と表示されます。

- microSDカードに音声タイトルが録音されているときは、音声タイトルが再生されます。そのまま手順8へ進んでください。

次のページにつづく

## 曲をダビングする(つづき)

### 8 ▲ ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押す



「ダビング中 カードを抜かないで下さい」と表示され、内蔵メモリーからmicroSDカードへ、ダビングが始まります。

ダビングが終わると、「他のカードへダビングしますか」と表示されます。

- **ほかのmicroSDカードにもダビングするとき**  
「はい」を選んで**決定**ボタンを押し、手順**7**と**8**をくり返します。
- **ダビングを終了するとき**  
「いいえ」を選んで**決定**ボタンを押します。  
ダビングが終了し、メニューに戻ります。  
再生画面に戻るには、**再生▶ ||**ボタンを押します。

## ご注意

- ダビング準備中とダビング中は、microSDカードを抜かないでください。
- ダビング先のmicroSDカードに十分な空き容量がないと、ダビングができない場合があります。
- 内蔵メモリーの容量(70MB)を超えるサイズのファイルは、ダビングできません。パソコンを使ってコピーしてください。

### ダビングを中断するときは

メニューボタンを押します。

「ダビングを終了 メニューへ移動?」と表示されます。

中断するときは、▲ ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押してください。

### ダビングしたファイルを再生するときは

メニューの「ダビングリスト」からファイルを選びます。

- 本機で録音されたファイルは、次のように表示されます。

例: 2014年9月19日12時34分の録音ファイル

ダビング元のファイル名	ダビングリストの表示
12_34_REC	140919_1234

## 調節した曲を保存する(WAV変換コピー)

音程を変えたり(→83)、パートキャンセル(→85)をした曲を、別のファイルとして保存できます。  
新しいファイルは、WAV形式で保存されます。

### お知らせ

- WAV変換コピーをしたファイルは、元のファイル名の末尾に「\_W××」をつけた名前で、元のファイルと同じフォルダに保存されます。
- A-B区間リピート再生中は(→78)、指定した部分だけを別のファイルとして保存します。
- 音程を変えたり(→83)、パートキャンセル(→85)をした曲や、MP3/WMA形式のファイルを保存すると、保存したファイルの上に録音を重ねることができます(→44)。
- 次の機能を使っている状態でWAV変換コピーをしても、保存したファイルには影響しません。
  - スピードコントロール(→82)
  - はっきりスピーカ(→128)
  - はっきりヘッドホン(→129)
  - イコライザ(→126)
- 1曲につき最大99回までWAV変換コピーができます。

### 1 保存したい曲を再生する

- お好みで音程の調節や、パートキャンセルをしてください。

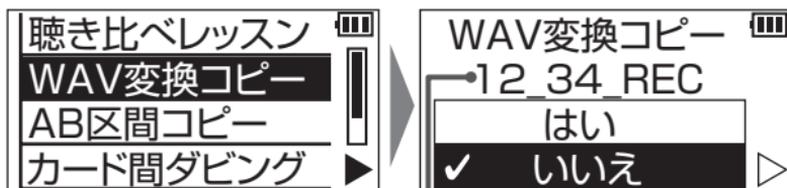
### 2 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

3 ▲/▼ ボタンを押して「機能/設定」を選び、**決定**ボタンを押す

4 「機能選択」が選ばれているのを確認して、**決定**ボタンを押す

5 ▲/▼ ボタンを押して「WAV変換コピー」を選び、**決定**ボタンを押す



WAV変換コピーされる  
ファイル名

6 ▲ ボタンを押して「はい」を選び、**決定**ボタンを押す

「変換コピー中」と表示されます。ファイルが保存されると、メニューに戻ります。

- WAV変換コピーを中止するときは、**メニュー**ボタンを押してから、「はい」を選んで**決定**ボタンを押します。
- WAV変換コピーの終了後に**再生▶ ||**ボタンを押すと、保存したばかりのファイルが再生されます(ワンタッチ再生)。

# 削除する

曲を削除する .....	105
フォルダを削除する .....	106

## ご注意

- 削除した曲は、もとに戻せません。よく確認してから削除してください。

# 曲を削除する

楽曲ファイルや音楽ファイルを1曲ずつ削除します。

- まとめて削除するときは、パソコンを使います。

(→ 112)

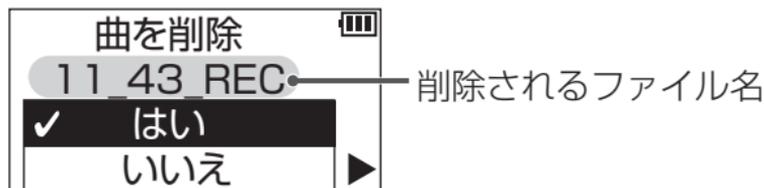
## 1 削除したいファイルを再生する

## 2 A-B◀/削除ボタンを押しつづける

確認のメッセージが表示されます。

削除すると、もとに戻せません。よく確認してから手順3に進んでください。

## 3 ▲ ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押す



「お待ちください」と表示されます。ファイルが削除されると、再生画面に戻ります。

次のページにつづく

## 曲を削除する(つづき)

### お知らせ

- 録音リスト、音楽リスト、またはダビングリスト(→50、101)で削除したいファイルを選んでいるときに**A-BC** / **削除**ボタンを押しつづけると、手順**3**の画面が表示され、選んでいるファイルを削除できます。
- 曲の再生中または停止中に、メニューの「曲削除」を選んで曲を削除することもできます。「曲削除」を選ぶと確認のメッセージが表示されます。よく確認してから曲を削除してください。

## フォルダを削除する

フォルダを一つずつ削除します。フォルダを削除すると、その中のファイルはすべて削除されます。

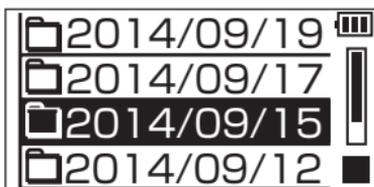
### 1 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

### 2 ▲ / ▼ ボタンを押して「録音リスト」または「音楽リスト」を選び、決定ボタンを押す

- 「音楽リスト」を選んだときは、「フォルダ」を選んでから手順**3**に進みます。(「アーティスト」と「アルバム」を選ぶと、削除できません。)

### 3 ▲/▼ ボタンを押して、削除したいフォルダを選ぶ

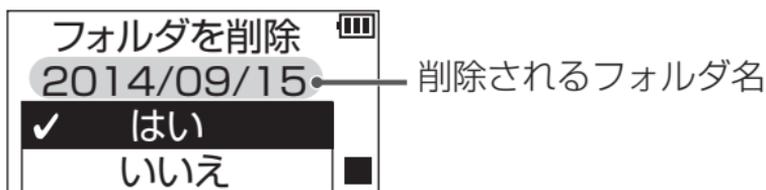


### 4 A-B↩/削除ボタンを押しつづける

確認のメッセージが表示されます。

削除すると、もとに戻せません。よく確認してから手順5に進んでください。

### 5 ▲ ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押す



「お待ちください」と表示されます。フォルダが削除されると、フォルダのリスト表示に戻ります。

# パソコンにつなぐ

- パソコンにつなぐ..... 109
- 本機からパソコンへ  
コピーする ..... 112
  - ファイル/フォルダを削除する ... 112
  - フォルダ名/ファイル名を  
変更する..... 113
  - パソコンから本機へ  
コピーする ..... 115
  - パソコンから取りはずす ..... 115

## パソコンにつなぐ

---

本機とパソコン(Windows<sup>®</sup>8、Windows<sup>®</sup>7、Windows Vista<sup>®</sup>またはWindows<sup>®</sup>XP)をつないで、パソコン側から次の操作ができます。

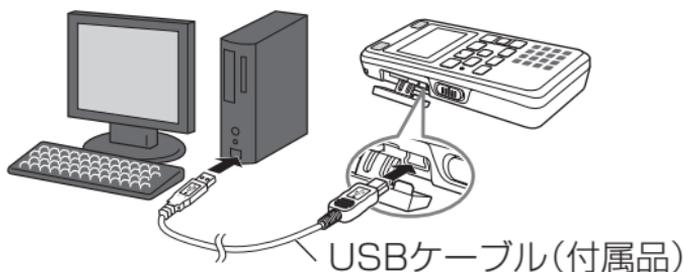
- 本機で録音した楽曲ファイルを、パソコンにコピーする
- ファイルやフォルダの名前を変更する
- ファイルやフォルダをまとめて削除する
- CDなどからパソコンに取り込んだ音楽ファイル(MP3/WMA/WAV形式)を、本機にコピーする

### お知らせ

- 本書では、Windows<sup>®</sup>7の画面例で説明しています。
- 本機をUSBケーブルでパソコンにつないでいる間は、本機からの操作はできません。
- 本機をUSBケーブルでパソコンにつないでいる間は、パソコンから給電されます。

# パソコンにつなぐ(つづき)

## 1 本機をパソコンに接続する

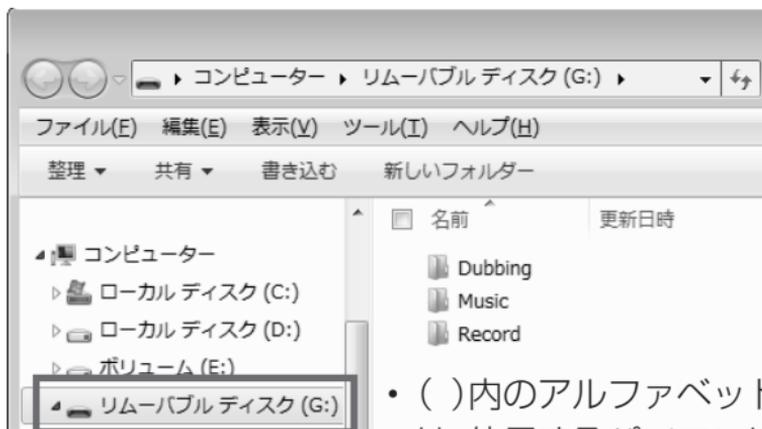


本機がリムーバブルディスクとしてパソコンに認識されます。

- 本機の画面に「USB接続中」と表示されます。

## 2 パソコンの (コンピューター) から、本機のフォルダを開く

Windows<sup>®</sup>7での画面例



- ( )内のアルファベットは、使用するパソコンによって異なります。

- ・ パソコンの表示は、設定によって異なります。

<b>Record</b>	本機で録音した楽曲ファイルが入っているフォルダです。日付のフォルダを開くと、楽曲ファイルが表示されます。
<b>Music</b>	パソコンから音楽ファイルをコピーして入れるためのフォルダです。
<b>Dubbing</b>	ダビングしたファイルが入っているフォルダです(→101)。

- ・ 音声タイトル(→94)が録音されているときは、同じ階層に「Talking.mp3」が表示されます。
- ・ パソコンでは、本機の「録音リスト」のフォルダ名とファイル名は次のように表示されます。

例：2014年9月19日12時34分に録音された  
楽曲ファイル

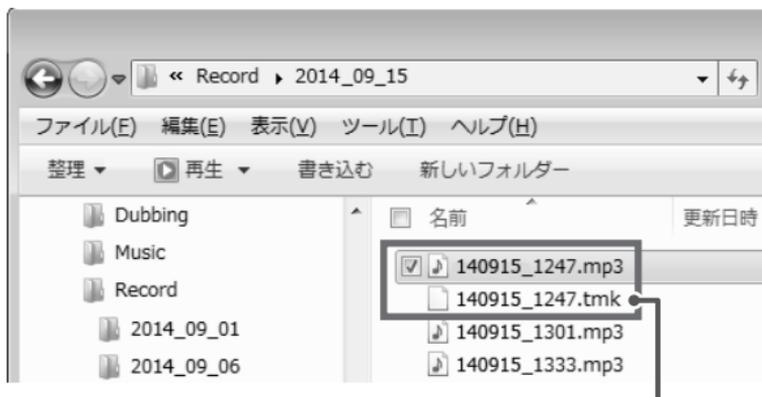
	本機の表示	パソコンでの表示
フォルダ名	2014/09/19	2014_09_19
ファイル名	12_34_REC	100919_1234. mp3

## パソコンにつなぐ(つづき)

### ◆本機からパソコンへコピーする

- 1 本機のフォルダを開く
- 2 コピーしたいフォルダ/ファイルを、パソコンのデスクトップなどへコピーする

Windows<sup>®</sup>7での画面例



- 頭出しマーク(→89)をつけた曲は、拡張子が「.tmk」になった同じ名前のファイルが表示されます。頭出しを有効にするには、このファイルもコピーします。

### ◆ファイル/フォルダを削除する

- 1 本機のフォルダを開く
- 2 削除したいファイル/フォルダを選ぶ

- ・パソコンの表示は、設定によって異なります。

### 3 キーボードの「Delete」を押して、確認ダイアログで「はい」を選ぶ

Windows<sup>®</sup>7での画面例



#### ◆ フォルダ名/ファイル名を変更する

本機の「録音リスト」や「音楽リスト」の、フォルダ名やファイル名を変更できます。

#### お知らせ

- ・名前を変更する前に、パソコンなどにバックアップを取っておくことをおすすめします。
- ・「録音リスト」のフォルダ名を変更すると、カレンダー検索で録音日を選ぶことができなくなります(→52)。
- ・「録音リスト」や「音楽リスト」のフォルダ/ファイルは、新しい名前の順に並び替えられます。

次のページにつづく

## パソコンにつなぐ(つづき)

- 1 本機のフォルダを開く
- 2 「Record」フォルダを開いて、名前を変更したいフォルダ/ファイルを選ぶ
- 3 マウスを右クリックして、「名前の変更」を選ぶ



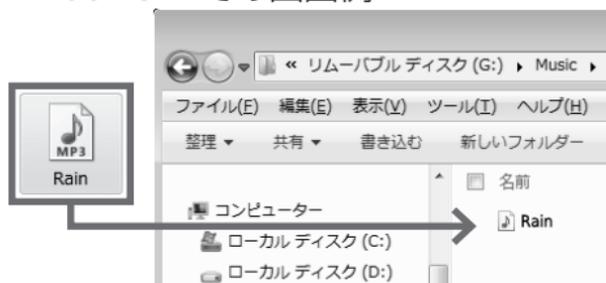
- 4 キーボードで名前を入力する

## ◆ パソコンから本機へコピーする

1 パソコン上に音楽ファイルを用意する

2 音楽ファイルを本機の「Music」フォルダへコピーする

Windows<sup>®</sup>7での画面例



### お知らせ

- 音楽ファイルの収録時間のめやすについては、152ページをご覧ください。
- WMA-DRM(著作権保護付き)ファイルは、本機では再生できません。

## ◆ パソコンから取りはずす

本機をパソコンから取りはずすときは、以下の手順に従って正しく取りはずしてください。

1 タスクバーの (「ハードウェアの安全な取り外し」)をクリックする

次のページにつづく

## パソコンにつなぐ(つづき)

---

2 ポップアップメッセージをクリックする

3 確認ダイアログが表示されたら、USB  
ケーブルをはずす

Windows<sup>®</sup>7での画面例(表示は、パソコンの設定  
によって異なります。)



### ご注意

- 本機の表示窓の矢印の回転が止まるまで、USBケーブルを抜かないでください。ファイルが破損する原因となることがあります。



# 設定を変える

設定を変える .....	118
• 設定項目の選択・変更のしかた ...	118
• 録音の設定 .....	120
• 聞くときの設定 .....	125
• 省電力設定 .....	130
• 画面の設定 .....	131
• 情報を見る .....	132
• その他 .....	133
microSDカードをフォーマット する .....	135
設定を初期化する .....	136

# 設定を変える

本機の使いかたに合わせて、設定を変えることができます。

## お知らせ

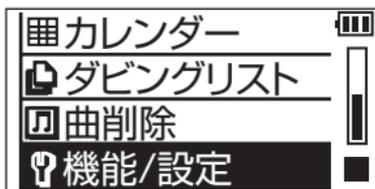
- 本機の表示は、日本語表示と英語表示を選べます。本書では、日本語表示で説明しています。表示の切り換えかたは132ページをご覧ください。

## ◆ 設定項目の選択・変更のしかた

### 1 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

### 2 ▲/▼ ボタンを押して「機能/設定」を選び、決定ボタンを押す



### 3 ▲/▼ ボタンを押して項目を選び、決定ボタンを押す

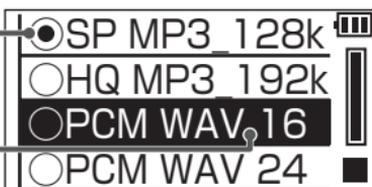
- 設定したい項目(→119)を選ぶまで、同じ操作をくり返します。
- 前のメニューに戻るときは、戻る◀◀ ボタンを押します。

## 4 ▲/▼ ボタンを押して設定を選び、決定ボタンを押す

例: 録音品質の設定

現在の設定

選ばれている項目



設定が変更され、メニューに戻ります。

## 設定項目一覧



### 録音設定

- 録音品質
- 外部入力
- マイクブースト
- 録音リバーブ
- 録音感度
- 重ね録音感度

### 再生設定

- スピード/キー
- パートキャンセル
- イコライザ
- リPEAT

### システム設定

- 頭だしマーク解除
- ヘッドホン出力
- はっきりスピーカ
- はっきりヘッドホン
- ギャップレス再生
- メトロノーム音
- 時計設定
- 電源オフタイマー
- 電池設定
- LCDコントラスト
- LCDバックライト
- メニュー言語
- フォーマット
- 設定初期化
- ファームウェア
- 使用容量情報

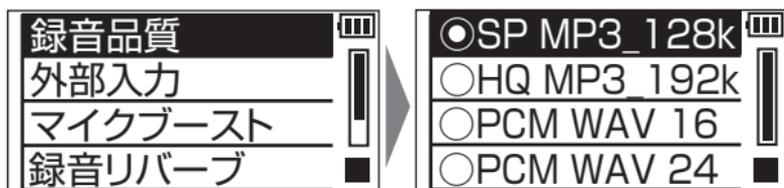
## 設定を変える(つづき)

### ◆ 録音の設定

「録音設定」から選んで設定します。

#### ◇ 録音品質

通常の録音をするときの品質を選びます。



- **SP MP3\_128k**:MP3形式で、標準の音質で録音します。(お買い上げ時の設定)
- **HQ MP3\_192k**:MP3形式で、高音質で録音します。
- **PCM WAV 16**:WAV形式(48kHz/16bit)で録音します。MP3形式よりも高音質です。
- **PCM WAV 24**:WAV形式(48kHz/24bit)で録音します。もっとも高音質です。

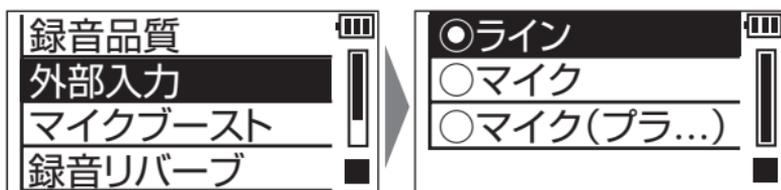
### お知らせ

- 録音品質によって、楽曲ファイルの大きさが変わるため、録音できる時間が変わってきます。設定ごとの録音できる時間のめやすについては、152ページをご覧ください。
- WAV形式は圧縮しないため、MP3形式よりも音質がよくなりますが、ファイルサイズは大きくなります。

- 設定項目の選びかたは、**118**ページをご覧ください。

### ◇ 外部入力

ライン/マイク入力端子につなぐ機器に合わせて、入力を切り換えます。

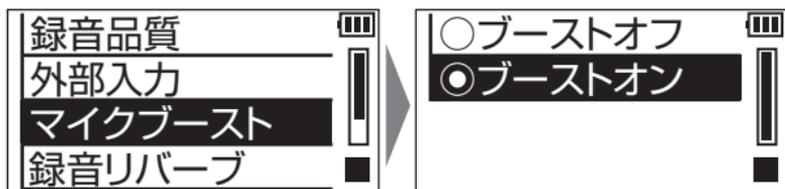


- **ライン**:ライン/マイク入力端子に、外部機器をつなぐときに選びます。(お買い上げ時の設定)
- **マイク**:ライン/マイク入力端子に、電池内蔵のステレオマイクなど、プラグインパワー非対応のマイクをつなぐときに選びます。
- **マイク(プラグインパワー)**:ライン/マイク入力端子に、プラグインパワー方式のステレオマイクをつなぐときに選びます。

## 設定を変える(つづき)

### ◇ マイクブースト

「ブーストオン」(お買い上げ時の設定)を選ぶと、マイクの感度を上げて、小さな音も録音できるようにします。

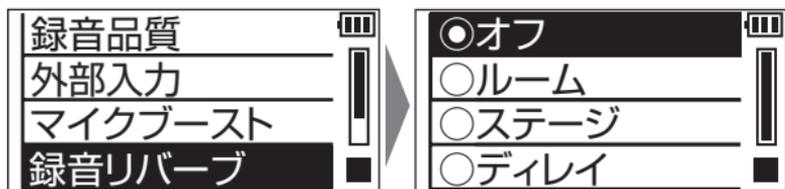


### お知らせ

- 電気楽器をつないで音声を入力しているときにも、この機能は働きます。
- 外部入力の設定(→34)が「ライン」のときにライン/マイク入力端子に機器をつなぐと、この機能は働きません。

### ◇ 録音リバーブ

録音時のリバーブ(残響効果)を設定します。



・ 設定項目の選びかたは、**118**ページをご覧ください。

- ・ **オフ**:残響をつけません。(お買い上げ時の設定)
- ・ **ルーム**(R):音源の輪郭がぼやけないような、控えめな残響効果です。
- ・ **ステージ**(S):ボーカルなどの録音に適した、深みのある残響効果です。
- ・ **ディレイ**(D):電気楽器などの演奏でよく使われる、奥行きのある残響効果です。

## お知らせ

- ・ この機能は、録音品質がWAV形式の録音にのみ働きます。
- ・ 電源を切ると、設定が「オフ」に戻ります。

### ◇ 録音感度/重ね録音感度

通常の録音と重ね録音の録音感度を、それぞれ設定します。

通常の録音の録音感度を  
設定するときに選びます。



重ね録音の録音感度を設定  
するときに選びます。

次のページにつづく

## 設定を変える(つづき)

- **Auto[MUSIC]**:音源の音量に合わせて感度を自動的に調節するので、幅広い音量に対してノイズやひずみの少ない、聞き取りやすい録音ができます。音楽や楽器演奏の録音に適しています。(お買い上げ時の設定)
- **Auto[VOICE]**:大きな音から小さな音まで、均一な音量で録音します。会議などで複数の人の声を録音するときに便利です。
- **Semi-Auto**:大きな音が入力されるたびに、感度が自動的に下がります。(感度は自動的にには上がりません。)戻る◀◀/▶▶Iボタンを押して、手動で調節することもできます。  
録音の待機中に、予想される最大音量を入力しておく、自然な抑揚のまま録音できます。  
リハーサルなどで、あらかじめ最大音量がわかっているときに便利です。
- **Manual**:戻る◀◀/▶▶Iボタンを押して、感度を手動で調節します。原音に忠実な録音をしたいときにおすすめします。

### お知らせ

- 録音の待機状態のときは、録音レベルメーターを見ながら感度を設定できます(→48)。
- 録音感度の設定は、聴き比べレッスンの練習録音にも有効です。

- ・ 設定項目の選びかたは、**118**ページをご覧ください。

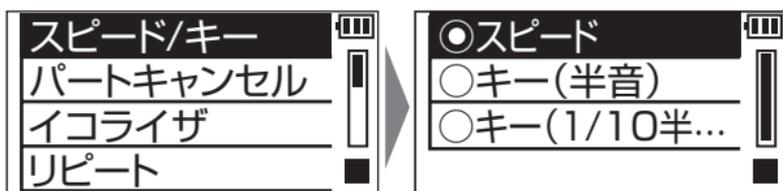
## ◆ 聞くときの設定

「再生設定」から選んで設定します。

### ◇ スピード/キー

本機では、**スピード/キー**＋ボタンを使って、曲の再生速度または音程を調節します。(→**82、83**)  
調節したい項目に合わせて、**スピード/キー**＋ボタンに割り当てる機能を設定します。

- ・ 速度と音程を同時に調節することはできません。



- ・ **スピード**:再生速度を調節します。(お買い上げ時の設定)
- ・ **キー(半音)**:音程を半音(100セント)ずつ調整します。
- ・ **キー(1/10半音)**:音程を10セントずつ調節します。

### ◇ パートキャンセル

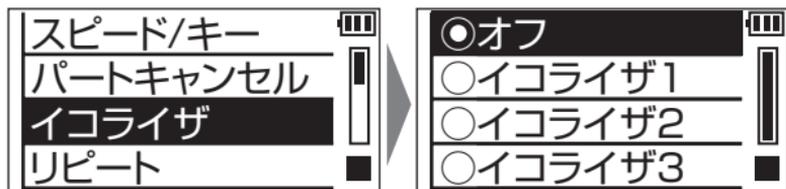
選んだポジションの音を低減して再生します。  
詳しくは**85**ページをご覧ください。

## 設定を変える(つづき)

### ◇ イコライザ

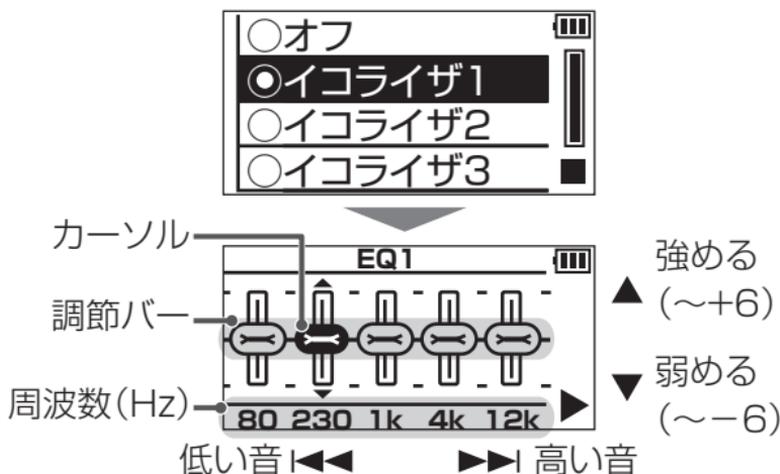
ヘッドホンで聞くときの音質を、3種類までお好みで設定できます。

- ヘッドホンをつないでいるときに設定できます。



- お買い上げ時は「オフ」に設定されています。
- スピーカーで聞くときは、この機能は働きません。
- 「イコライザ1/2/3」を選ぶと、音質調節画面が表示されます。曲を聞きながら、お好みで調節します。

(例)「イコライザ1」を選んだとき



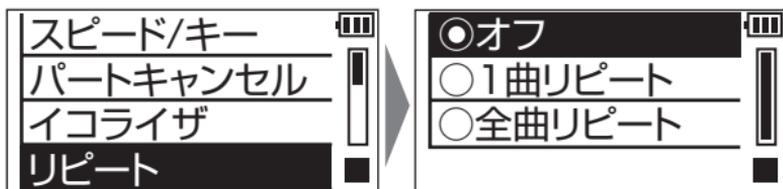
・設定項目の選びかたは、**118**ページをご覧ください。

- 1 **戻る**◀◀/▶▶ボタンを押して周波数(音の高さ)を選ぶ
- 2 ▲/▼ボタンを押して調節する

・「12k」の調節バーにカーソルを合わせて**決定**ボタンを押すと、メニューに戻ります。再生画面に戻るには、**再生**▶||ボタンを押します。

#### ◇ リピート

再生のくり返しを設定します。



- ・ **オフ**:くり返ししません。(お買い上げ時の設定)
- ・ **1曲リピート**:1曲をくり返します。
- ・ **全曲リピート**:選んでいるフォルダ/リストのすべての曲をくり返します。

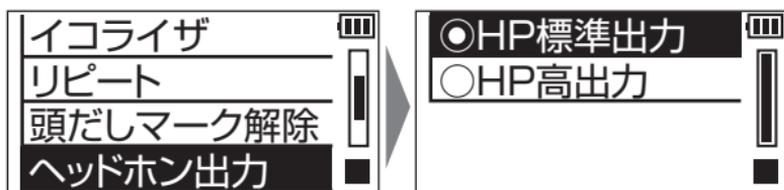
#### ◇ 頭だしマーク解除

曲の頭出しマークを一括で解除します。  
詳しくは**90**ページをご覧ください。

## 設定を変える(つづき)

### ◇ ヘッドホン出力

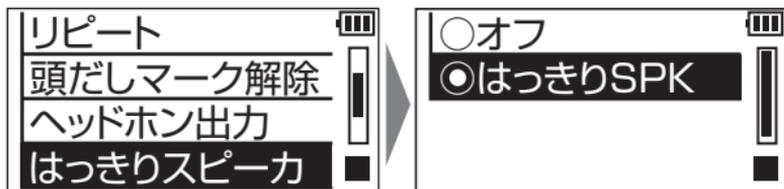
ヘッドホンの音が、音量を調節しても小さいと感じる場合は、「HP 高出力」を選びます。



- お買い上げ時は「HP標準出力」に設定されています。

### ◇ はっきりスピーカ

音量を調節してもスピーカーからの音が小さいときに「はっきりSPK」を選ぶと、小さな音も大きく再生され、聞きやすくなります。



- お買い上げ時は「はっきりSPK」に設定されています。

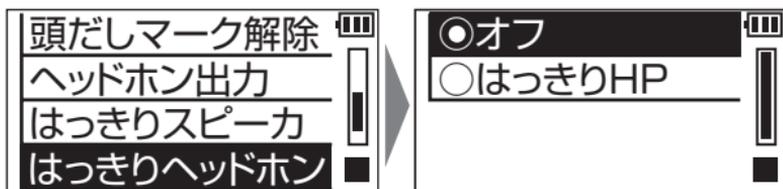
## お知らせ

- この機能は、特殊なサンプリング周波数(32kHz～48kHz以外)で録音された曲には動きません。

- ・ 設定項目の選びかたは、**118**ページをご覧ください。

### ◇ はっきりヘッドホン

ヘッドホンの音が小さいときに「はっきり<sup>ヘッドホン</sup>HP」を選ぶと、小さな音も大きく再生され、聞きやすくなります。



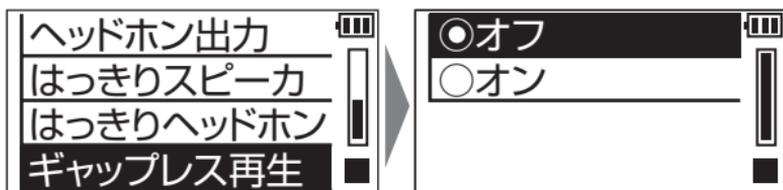
- ・ お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

## お知らせ

- ・ この機能は、特殊なサンプリング周波数(32kHz～48kHz以外)で録音された曲には働きません。

### ◇ ギャップレス再生

「オン」を選ぶと、再生時に曲と曲の間の無音部分を飛ばして再生します。



- ・ お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

次のページにつづく

## 設定を変える(つづき)

### お知らせ

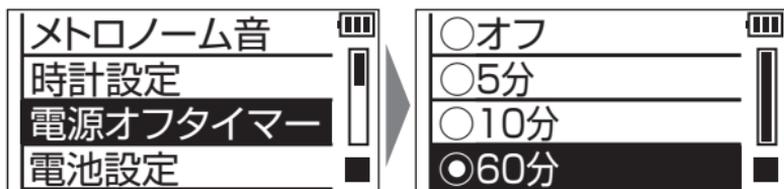
- 早送り/早戻し再生中、1曲リピート/A-B区間リピート再生中は、この機能は働きません。
- MP3形式やWMA形式のファイルでは、曲によってギャップレス再生ができない場合があります。

以下の項目は、「システム設定」から選んで設定します。

### ◆ 省電力設定

#### ◇ 電源オフタイマー

操作しなくなってから電源が切れるまでの時間を設定して、電池の消耗を防ぐことができます。



- お買い上げ時は「60分」に設定されています。
- 「オフ」を選ぶと、電源は自動では切れません。

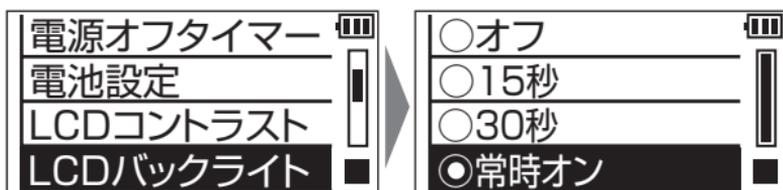
### お知らせ

- 次のときは、この機能は働きません。
  - USB端子から給電しているとき
  - 録音中
  - 再生中
  - チューナー機能を使って、音を入力しているとき

- 設定項目の選びかたは、**118**ページをご覧ください。

## ◇ LCDバックライト

操作しなくなってから画面の照明が消えるまでの時間を設定して、電池の消耗を防ぐことができます。

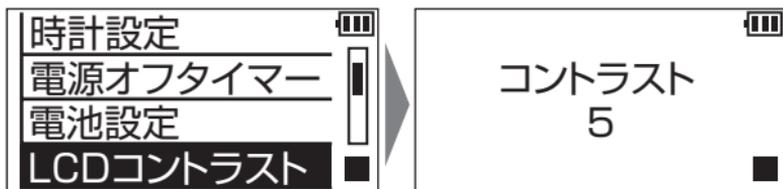


- 「オフ」を選ぶと、バックライトは点灯しません。
- 「常時オン」(お買い上げ時の設定)を選ぶと、電源が入っている間はバックライトが常に点灯します。

## ◆ 画面の設定

### ◇ LCDコントラスト

画面の濃淡を変更できます。

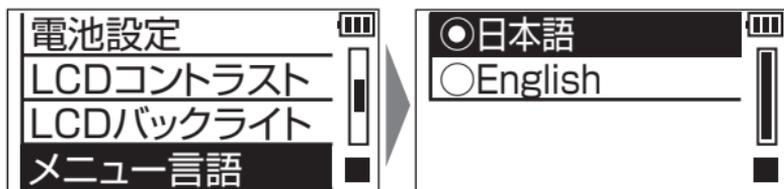


- 画面を見ながら、▲/▼ボタンを押して見やすい値(1～10)に設定します。
- お買い上げ時は「5」に設定されています。

## 設定を変える(つづき)

### ◇ メニュー言語

本機の表示言語を切り換えます。日本語または英語が選べます。

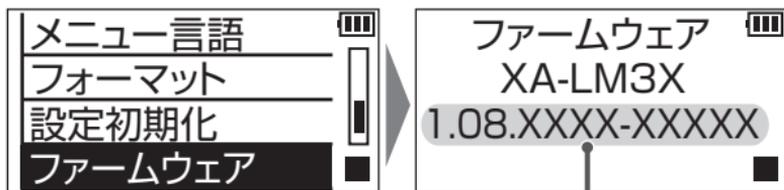


- お買い上げ時は「日本語」に設定されています。

### ◆ 情報を見る

#### ◇ ファームウェア

本機のファームウェアのバージョンを表示します。



ファームウェアのバージョン

#### ◇ 使用容量情報

microSDカードの使用情報を表示します。



・ 設定項目の選びかたは、**118ページ**をご覧ください。

- ・ 「残り」で表示される時間は、現在の録音品質設定（→ **36**）で録音できる時間です。
- ・ microSDカードの一部をシステム管理情報の保存に使用しているため、表示される容量はmicroSDカードに記載されている容量よりも少なくなります。

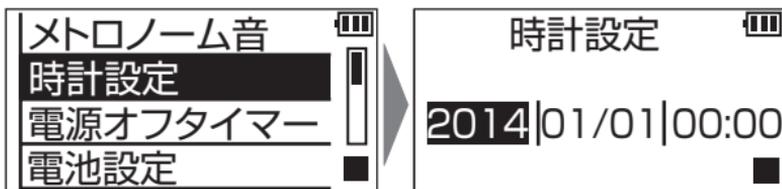
## ◆ その他

### ◇ メトロノーム音

メトロノームのリズム音を変更します。  
詳しくは**69ページ**をご覧ください。

### ◇ 時計設定

日付と時刻を設定します（→ **25**）。



## お知らせ

- ・ 本機の時計は、最大で月に2分程度のずれが生じることがあります。定期的に日付と時刻を合わせ直してください。
- ・ 電池を抜いたままで2分以上放置すると、時計設定が消去される場合があります。

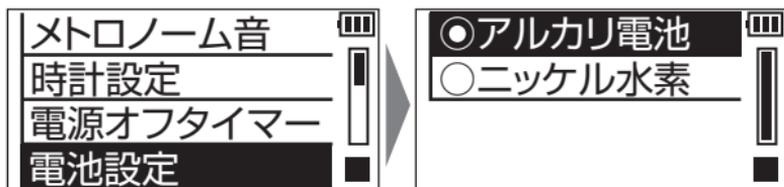
## 設定を変える(つづき)

---

- 設定項目の選びかたは、**118**ページをご覧ください。

### ◇ 電池設定

お使いの電池の種類を設定することで、電池残量をより正確に表示できます。



- お買い上げ時は「アルカリ電池」に設定されています。

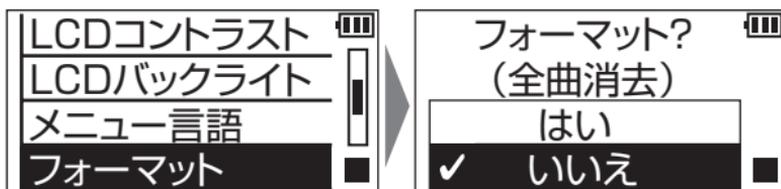
## microSDカードをフォーマットする

microSDカードをフォーマット(初期化)します。

- microSDカードは、はじめに本機でフォーマットしてからお使いください。
- 「機能/設定」の「システム設定」から操作します。

### ご注意

- フォーマットすると、microSDカードのファイルはすべて消去されます。消去したファイルは、もとに戻せません。よく確認してからフォーマットしてください。

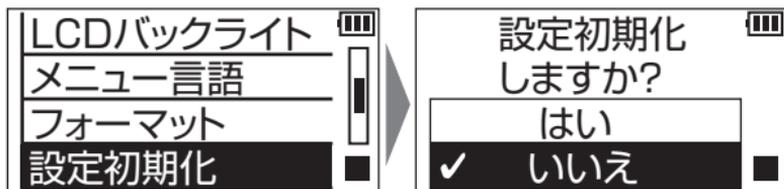


- **はい**: フォーマットします。「フォーマット完了しました」と表示されたら、**決定**ボタンを押します。
- **いいえ**: 消去せずに、前の画面に戻ります。

## 設定を初期化する

時計設定以外の本機の設定を、お買い上げ時の設定に戻します。

- 「機能/設定」の「システム設定」から操作します。



- **はい**: お買い上げ時の設定に戻します。「設定初期化完了しました」と表示されたら、**決定**ボタンを押します。
- **いいえ**: 設定を戻さずに、前の画面に戻ります。

### お知らせ

- 次の設定もお買い上げ時の設定に戻ります。
  - 音量
  - メトロノーム
  - チューニングトーン
- 録音した楽曲ファイルや、音楽ファイルは削除されません。

# 参考

故障かな？と思ったら.....	138
• 全般.....	138
• 録音.....	140
• 再生.....	141
• チューニング.....	142
こんなメッセージが出たら.....	142
主な仕様.....	148
収録時間のめやす.....	152
搭載ソフトウェアに関する情報...	154
索引.....	158
保証とアフターサービス.....	161

# 故障かな？と思ったら

問題の多くは、当社ホームページ<<http://www3.jvckenwood.com/>>から最新の製品Q&A情報をご覧ください。お客様サポートセンターにご相談になる前に下記をチェックしてください。



電源を入れ直しても誤動作する場合は、電池を抜いて、もう一度入れ直してください。

電池の状態によっては、スピーカーから大きな音を出すと突然電源が切れることがあります。その場合は音量を下げるか、ヘッドホンを使ってください。  
また、早めに新しい電池に交換するか、市販のUSB変換ACアダプターをお使いいただくことをおすすめします。

## ◆ 全般

### 電源が入らない

- 電源が入る前に、**電源/ホールド**スイッチから指をはなした ⇒ 画面に表示が出るまで、スイッチを押し上げたままにしてください。
- 電池が消耗している ⇒ 残量表示が点滅(🔋)したら、早めに電池を交換してください。

### 操作できない

- ボタン操作がホールドされている(**電源/ホールド**スイッチが「ホールド」側になっている) ⇒ ホールドを解除してください。

- 電池が消耗している ⇨ 残量表示が点滅()したら、早めに電池を交換してください。
- パソコンにつないでいる ⇨ パソコンから取りはずしてください(→ 115)。

### 電源が切れない

- USB変換ACアダプターを使用している ⇨ USB変換ACアダプターを抜いてから電源を切ってください。
- パソコンにつないでいる ⇨ パソコンから取りはずしてください(→ 115)。

### スピーカーから音が出ない

- ヘッドホンがつながれている ⇨ ヘッドホンをはずしてください。
- 音量が小さすぎる ⇨ 音量を調節してください。

### 自動的に電源が切れる

- 電源オフタイマーが設定されている ⇨ 設定を「オフ」にしてください(→ 130)。
- 電池が消耗している ⇨ 残量表示が点滅()したら、早めに電池を交換してください。

### 突然電源が切れる、動作が不安定

- 電池が劣化または消耗している ⇨ 新しい電池に交換するか、市販のUSB変換ACアダプターをお使いください。

次のページにつづく

## 故障かな?と思ったら(つづき)

### メニューを表示できない

- 録音画面が表示されている ⇨ 録音待機中または録音中は、メニューを表示できません。■ ボタンを押してから、メニューボタンを押してください。

## ◆ 録音

### 録音できない

- microSDカードが正しく挿入されていない  
⇨ microSDカードを正しく挿入してください。
- microSDカードに空き容量がない ⇨ 不要な曲を削除するか(→ 105、112)、microSDカードを入れ替えてください。
- A-B区間リピート再生をしている ⇨ A-B区間リピート再生中に録音●II ボタンを押すと、聴き比べレッスンが始まります。A-B◀/削除ボタンを押してA-B区間リピートを解除してから録音してください。
- 2秒以内に■ ボタンを押した ⇨ 2秒以下の録音は保存されません。長めに録音してください。

### 録音ファイルが正常に保存されない

- 電池が著しく劣化している ⇨ 新しい電池に交換してください。

### 録音した音がひずむ

- 録音したとき、本機が音源に近すぎた ⇨ 音源から本機をはなして録音するか、録音感度を下げてください(→ 39、45、123)。

- 音源の音量に対して、録音感度が高すぎる ⇨ 録音レベルメーター(→ 48)を見ながら、録音感度を調節してください(→ 39、45、123)。
- マイクブーストを「ブーストオン」に設定している ⇨ 「ブーストオフ」に設定してください(→ 122)。

### 録音した音が小さい、または全く録音されない

- 録音したとき、本機が音源から遠すぎた ⇨ 音源に近づいて録音するか、録音感度を上げてください。
- マイクブーストを「ブーストオフ」に設定している ⇨ 「ブーストオン」に設定してください(→ 122)。
- 録音感度が「Auto」または「Semi-Auto」のときに、操作音などの雑音が入った ⇨ 雑音に対して自動感度調節が働き、録音した音が小さくなる場合があります。録音中は、できるだけ静かに操作してください。
- **ライン/マイク入力端子**を使って録音したときに、外部入力を正しく設定していなかった ⇨ つないでいる機器に合わせて、外部入力を正しく設定してください(→ 34)。

## ◆ 再生

### 再生▶ ■ ボタンを押しても再生が始まらない

- 録音画面が表示されている ⇨ 録音待機中または録音中は、再生できません。■ ボタンを押してから再生してください。

次のページにつづく

## 故障かな?と思ったら(つづき)

- microSDカードが挿入されていない ⇨ microSDカードを挿入してください。

### ◆チューニング

#### うまくチューニングできない

- つないだ電気楽器の音量が大きすぎる、または小さすぎる ⇨ チューニング目盛りが安定するように、楽器の音量を調節してください。
- 内蔵マイクと楽器の距離が遠い ⇨ できるだけマイク(L側)に近づけてください。または、マイクの向きを変えてみてください。
- 周囲の雑音が多い ⇨ できるだけ他の音が入らないようにしてください。

## こんなメッセージが出たら

### ホールド中

ボタン操作がホールドされています。操作するには、**電源/ホールド**スイッチを図の位置に戻してください。



### カード読み込み中

microSDカードを挿入すると表示されます。この表示が出ているときは、操作ができません。また、この表示が出ているときは、microSDカードを抜かないでください。

## こんなメッセージが出たら(つづき)

---

### カードを挿してください

次のときにmicroSDカードが入っていないと表示されます。microSDカードを挿入してください。

- **録音●II** ボタン、**重ね録音●II** ボタン、または**再生▶ II** ボタンを押したとき
- 「録音リスト」、「音楽リスト」、「ダビングリスト」、「曲削除」、「機能/設定」、または「フォーマット」を選んだとき

microSDカードが入っているときに表示されたら、もう一度挿入し直してください。

### お待ちください

ファイルの削除などの実行中に表示されます。microSDカードを抜いたときに表示されることもあります。

### カード読み込み失敗しました

#### カードを挿し直してください

microSDカードを読み込めなかったときに表示されます。

### 空き容量がありません

microSDカードに空き容量がないときに、

**録音●II** ボタンまたは**重ね録音●II** ボタンを押すと表示されます。空き容量のあるmicroSDカードに入れ替えてください。

次のページにつづく

## こんなメッセージが出たら(つづき)

---

### 最大登録数を超過しました

本機の最大収容曲数(4000曲)を超えたときに表示されます。(このとき、聴き比べレッスンや音声タイトルの録音もできません。)不要なファイルを削除するか(→ **105**、**112**)、microSDカードを入れ替えてください。

### 電池切れ

電池がなくなると表示され、電源が切れます。電池を交換してください。

### スピーカー再生時イコライザ設定はできません

イコライザは、ヘッドホンで聞くときの設定です。ヘッドホンをつないでいるときのみ調節できます。

### 録音は中断されました

録音中にmicroSDカードを抜くと表示されます。録音中は、microSDカードを抜かないでください。誤って抜いてしまった場合は、録音をやり直してください。

### 再生できません

非対応形式のファイルを再生しようとした、またはファイルが破損しているときに表示されます。再生できないファイルは、リストで🎵アイコンが表示されます。

## お手本が長すぎます。5分以内にしてください

- 「聴き比べレッスン」では、5分までのフレーズを設定してください。
- 再生速度を変えているときは、フレーズの長さが5分以内でもメッセージが表示されることがあります。通常の再生速度に戻すか、フレーズを短く設定してください。

## 頭出しマークの設定は99箇所までです

すでに99か所の頭出しマークをつけた曲に、100か所めの頭出しマークをつけようとする则表示されます。その曲には、それ以上の頭出しマークはつけられません。

## 頭出しマークを設定していません

頭出しマークがついていない曲を選んでいるときに「頭出しマーク解除」をしようとする则表示されます。頭出しマークのついている曲を選んでください。

## コピーするABリピート区間を選択して下さい

AB区間コピーの操作は、A-B区間リピートを設定してから行なってください(→78)。

## WMAファイルはAB区間コピーに対応していません

AB区間コピーをするときは、MP3またはWAV形式のファイルを選んでください。

次のページにつづく

## こんなメッセージが出たら(つづき)

---

### 106%以上ではパートキャンセルははっきりSPK/HPは無効です

再生速度が106%以上のときは、パートキャンセル、はっきりスピーカ、はっきりヘッドホンは働きません。再生速度を100%以下にしてください(→82)。

### カードの容量が少ない為ダビングできません

AB区間コピーまたはカード間ダビングで、microSDカードの空き容量が足りません。不要なファイルを削除するか(→105、112)、microSDカードを入れ替えてください。

### 曲のサイズが大きいためダビングできません

カード間ダビングでは、内蔵メモリーの容量を超えるサイズの曲はダビングできません。パソコンを使ってコピーしてください(→112)。

### WAV変換は最大は99個までです

同じ曲に対してWAV変換したファイルがすでに99個保存されているときに、100個めのファイルを保存しようとする则表示されます。不要なファイルを削除するか(→105、112)、microSDカードを入れ替えてください。

---

**カードの空き容量が少ない為、WAV変換できません**  
microSDカードの空き容量が足りません。不要なファイルを削除するか(→ 105、112)、microSDカードを入れ替えてください。

### **WAV変換に失敗しました**

ファイルをWAV変換できなかったときに表示されます。不要なファイルを削除するか(→ 105、112)、microSDカードを入れ替えてください。

### **MP3録音時リバーブは効きません。**

録音リバーブはWAV形式での録音にのみ有効です。録音品質をWAV形式に設定してください(→ 36)。

### **Shutting Down:31**

このメッセージが表示されて電源が切れた場合は、microSDカードの接触不良などが原因で、録音できなかった可能性があります。microSDカードを抜き差ししてから、電源を入れ直してください(→ 20、24)。

# 主な仕様

- 本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

## 記録メディア

- microSDカード(64MB~2GB)
- microSDHCカード(4GB~16GB)

## 録音

### 入力ソース

- 内蔵ステレオマイク  
エレクトレットコンデンサー型
- ライン/マイク入力端子  
φ3.5 mm、ステレオミニジャック
- コンタクトマイク/ギター入力端子  
φ6.3 mm、モノラル標準ジャック

### 録音フォーマット

- MP3
  - ビットレート:128 kbps(「SP」設定時)、  
サンプリング周波数:44.1 kHz
  - ビットレート:192 kbps(「HQ」設定時)、  
サンプリング周波数:44.1 kHz
- WAV\*<sup>1</sup>
  - 量子化ビット数:16ビット、  
サンプリング周波数:48 kHz(リニアPCM)
  - 量子化ビット数:24ビット、  
サンプリング周波数:48 kHz(リニアPCM)

\*<sup>1</sup> 重ね録音のフォーマットは、WAVのみです。

## 録音感度

Auto[MUSIC]、Auto[VOICE]、Semi-Auto(1~60)、  
Manual(1~60) (マイクブーストオン/オフ)

## 電池持続時間

約12時間(連続録音時、内蔵マイク、バックライトオフ、  
録音リバーブオフ、アルカリ乾電池使用時)\*<sup>2</sup>

## 再生

### 対応ファイル形式

- MP3/WMA
  - ビットレート: 8 kbps~320 kbps VBR、  
サンプリング周波数: 8 kHz~48 kHz  
(スピードコントロール、キーコントロール、パート  
キャンセル、はっきりスピーカ、はっきりヘッドホン  
は、サンプリング周波数32kHz~48kHzで録音され  
た曲のみに有効)
- WAV
  - 量子化ビット数: 16/24ビット、リニアPCM
- 最大収録曲数            4000曲
- 最大ファイル/フォルダ数        8000
- 最大フォルダ階層数    6
- 周波数特性                30 Hz~22 kHz

### 電池持続時間

約21時間(MP3連続再生時、ヘッドホン、音量20、バックラ  
イトオフ、すべての再生設定オフ、アルカリ乾電池使用時)\*<sup>2</sup>

\*<sup>2</sup> 使用状況や電池の状態などにより変動します。保証値  
ではありません。

## 主な仕様(つづき)

---

### 入出力

- ライン/マイク入力端子
  - $\phi 3.5$  mm、ステレオミニジャック×1
  - 入力インピーダンス:47 k $\Omega$
  - 最大入力レベル:0 dBV
- コンタクトマイク/ギター入力端子
  - $\phi 6.3$  mm、モノラル標準ジャック×1
  - 入力インピーダンス:470 k $\Omega$
  - 最大入力レベル:0 dBV
- ヘッドホン端子
  - $\phi 3.5$  mm、ステレオミニジャック×1、
  - 推奨インピーダンス:16  $\Omega$ 以上
- USB端子
  - ミニBタイプ、2.0/1.1(ハイスピード対応)
  - マスストレージクラス対応
  - USB入力:DC 5 V $\equiv$  500 mA
- スピーカー径  $\phi 28$  mm

### 実用最大出力

- ヘッドホン 8 mW + 8 mW(32  $\Omega$  JEITA\*<sup>3</sup>)
- スピーカー 300 mW(8  $\Omega$  JEITA\*<sup>3</sup>)(モノラル)

### チューナー部

- 基準音の調整範囲 410 Hz~480 Hz(A4)
- 測定範囲 C1(32.70 Hz)~C8(4186.01 Hz)
- 精度  $\pm 1$ セント以内
- 基準発信音(トーン) C4(243.79 Hz)~  
B5(1077.60 Hz)

## メトロノーム部

- ・ テンポ                    J = 30~250回/分
- ・ 拍子                      0~7拍子

## 表示部

大型バックライト付き液晶

## 共通部

### 電源

- ・ 単4形アルカリ乾電池(LR03) 1.5 V×2 または
- ・ 単4形充電式ニッケル水素電池(Ni-MH) 1.2 V×2
- ・ USB給電    DC 5 V $\overline{=}$  500 mA

### 本体寸法

幅約64 mm × 高さ120 mm × 奥行23.8 mm  
(突起部含まず)

### 質量

約101 g(電池含まず)

## 対応OS

Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 8、Windows<sup>®</sup> 7、  
Windows Vista<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup> XP(SP3以降)

\*3 JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値  
です。

## 別売りのオプション品

- ・ コンタクトマイク                    AC-RL10J

## 収録時間のめやす

楽曲ファイル/音楽ファイルのビットレートと、使用するmicroSD/microSDHCカードの容量によって、収録できる時間と曲数が異なります。

		microSDカードの容量	
		1GB	2GB
ビットレート(録音品質)	PCM24bit (PCM WAV 24)	約55分 約12曲	約1時間50分 約25曲
	PCM16bit (PCM WAV 16)	約1時間25分 約20曲	約2時間50分 約40曲
	320kbps*	約6.5時間 約100曲	約13時間 約200曲
	256kbps*	約8.5時間 約125曲	約17時間 約250曲
	192kbps (HQ MP3_192k)	約11時間 約170曲	約22時間 約340曲
	128kbps (SP MP3_128k)	約17時間 約250曲	約34時間 約500曲

\* 本機の録音品質設定では選べません(→36)。  
再生のみ可能です。

## お知らせ

- 曲数は、1曲を約4分としたときのめやすです。

### microSDHCカードの容量

	4GB	8GB	16GB
	約3時間40分 約50曲	約7時間20分 約100曲	約14時間40分 約200曲
	約5時間40分 約80曲	約11時間20分 約160曲	約22時間40分 約320曲
	約26時間 約400曲	約52時間 約800曲	約104時間 約1600曲
	約34時間 約500曲	約68時間 約1000曲	約136時間 約2000曲
	約45時間 約680曲	約90時間 約1360曲	約180時間 約2720曲
	約68時間 約1000曲	約136時間 約2000曲	約272時間 約4000曲

# 搭載ソフトウェアに関する情報

## McObjectエンドユーザー使用許諾書

本機XA-LM30には、McObject社のデータベースソフト(以下本ソフトといいます)が搭載されています。本ソフトの使用条件等は以下のとおりです。

### 1. 著作権

本ソフトに関する著作権等の知的財産権は、McObject LLC("McObject")またはそのライセンサーに帰属するものです。JVCケンウッド(以下弊社)はMcObject とのライセンス契約に基づき本ソフトを配布する正当な権限を有しています。

本ソフトは、日本、アメリカ合衆国およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

### 2. 権利の許諾

お客様は、本契約の条項に従って、本機上でのみ本ソフトを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。

### 3. 制限事項

お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。ただし、適法で認められる場合はこの限りではありません。

お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合または適法で認められる場合を除いて、本ソフトを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。

---

お客様には本ソフトを使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。

#### 4. 非保証

本ソフトは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、本ソフトの満足度、性能、正確性または成果(無過失を含みます)等、本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとし、また本ソフトによりお客様がお楽しみになっていることを妨げられたり、または侵害された場合も、一切の保証はありません。

#### 5. 責任の制限

McObject、弊社および本ソフトの作成・提供に係ったいかなる者も、本契約その他いかなる場合においても、本ソフトに関連する間接、特別または付随的損害(逸失利益を含みます)(損害発生につきMcObject、弊社らが予見し、または予見し得た場合を含みます)について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より弊社、McObjectおよびそれらの役員、従業員ならびに代理人を免責し、保証するものとし、

## 搭載ソフトウェアに関する情報(つづき)

---

### 6. 契約期間

本契約は、お客様によって本機上の本ソフトが使用開始された日を以て発効し、次によって終了されない限り有効に存続するものとします。

お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は、お客様に対し何らの通知、催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、弊社は、お客様の違反によって被った損害をお客様に請求することができます。なお、万一、本契約が終了したときには、お客様は本ソフトの使用を中止しなければならず、さらには本機に組み込まれた本ソフトをお持ちになることはできません。

### 7. 輸出管理

お客様は、本ソフトに適用される輸出管理についてのあらゆる法令規則を遵守することに同意するものとします。

### 8. その他

- (1) 弊社の正当な代表者が署名した書面による場合を除き、本契約のいかなる修正、変更、追加、削除その他改変も無効とします。
- (2) 本契約のいずれかの規定が日本国の法律で無効とされた場合も、残りの規定は依然有効とします。
- (3) 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

## データのお取り扱いについて

- 本機の故障または不測の事態などにより、再生・録音において利用の機会を逸したために発生した損害などの補償については、ご容赦ください。大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- Microsoft、Windows、およびWindows Media は米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporation の商標または登録商標です。
- 本取扱説明書に記載の他のシステム名および製品名は通常、そのシステムまたは製品の開発メーカーの登録商標です。

# 索引

## アルファベット

- AB区間コピー ..... 92
- A-B区間リピート ..... 78
- USB変換ACアダプター  
..... 15
- LCDコントラスト ..... 131
- LCDバックライト ..... 131
- microSDカード  
..... 20、132、135
- MP3 ..... 37、120
- PCM ..... 37、120
- USB ..... 15、110
- WAV ..... 37、120
- WAV変換コピー ..... 102

## あ

- 頭出しマーク ..... 89
  - 頭出しマーク解除 ..... 90
- イコライザ ..... 126
- 音楽リスト ..... 50
- 音質 ..... 126
- 音声タイトル ..... 94
- 音量 ..... 26、128

## か

- カード間ダビング ..... 98
- 重ね録音 ..... 44
- 楽器 ..... 33、56、59
- 画面
  - コントラスト ..... 131
  - 再生画面 ..... 54
  - バックライト ..... 131
  - メニュー画面 ..... 27
  - 録音画面 ..... 47
- カレンダー ..... 52
- 簡単頭出し ..... 89
- キーコントロール ..... 83
- 聴き比べレッスン... 79、87
- ギャップレス再生 ..... 129
- コンタクトマイク/ギター  
入力 ..... 30、33、56、59

## さ

- 再生
  - 音程調節 ..... 83、125
  - カレンダー検索 ..... 52
  - ギャップレス再生... 129

くり返し再生	
1曲、全曲.....	76
一部分.....	78
再生画面.....	54
再生速度.....	82、125
再生中の操作.....	55
ダビングファイルの	
再生.....	101
リスト検索.....	50
削除.....	105、106、112
使用容量情報.....	132
スピーカー.....	128
スピードコントロール...	82
スタンド.....	19
接続できる機器.....	31
設定	
設定項目.....	119
設定方法.....	118
設定初期化.....	136

## た

ダビング.....	98
ダビングリスト.....	101

チューナー	
クロマチック	
チューナー.....	58
チューニングトーン...	62
電源オフタイマー.....	130
電源の入/切.....	24
電池	
電池残量.....	28
電池設定.....	134
電池の入れかた.....	14
時計設定.....	25、133

## な

入力ソース.....	30、47
------------	-------

## は

パートキャンセル.....	85
パソコン	
パソコンからコピー...	115
パソコンで削除.....	112
パソコンで	
名前を変更.....	113
パソコンにつなぐ...	110
パソコンへコピー...	112
次のページにつづく	

## 索引(つづき)

はっきりスピーカ.....128  
はっきりヘッドホン...129  
日付と時刻.....25、133  
ファームウェア.....132  
ファイル名  
.....39、41、44、92、102、111  
フォーマット.....135  
フォルダ名.....39、111  
付属品.....13  
ヘッドホン...22、128、129  
ホールド.....22、38  
ポジションバー.....28

## ま

マイク  
    コンタクトマイク  
        .....31、59  
    内蔵マイク.....30、32  
    マイクブースト.....122  
ミキシング再生.....56  
メトロノーム.....67  
    リズム音.....69  
メニュー.....27  
メニュー言語.....132

## ら

ライン/マイク入力  
.....30、32、34、59  
ランプ  
    チューニングランプ...60  
    メトロノームランプ...68  
    録音ランプ  
        .....39、42、44、87、95  
リピート.....76、78、127  
録音  
    外部入力設定....34、121  
    重ね録音.....44  
    通常の録音.....39  
    入力ソース.....30、47  
    入力レベル.....48  
    録音可能時間...132、152  
    録音画面.....47  
    録音感度.....39、45、123  
    録音品質.....36、120  
    録音リスト.....50  
    録音リバーブ.....122

## 保証とアフターサービス

修理などのアフターサービスについて、下記ホームページをご覧ください。

<http://www3.jvckenwood.com/support/hrepair.html>



商品や修理(アフターサービスなど)に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

 **0120-2727-87** (フリーダイヤル)

(携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950、  
FAX 045-450-2308)

受付時間

月曜～金曜 9:30 ～ 18:00

土曜 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

## 保証とアフターサービス(つづき)

---

### お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類(シールやレシートなど)の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製品番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
3. ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、カスタマーサポートセンターにご相談ください。
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。
3. 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
  - (1) 本書のご提示がない場合。
  - (2) 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
  - (3) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
  - (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
  - (5) 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定以外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷。
  - (6) 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
  - (7) 一般家庭用以外(例えば業務用などへの長時間使用および車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
  - (8) 消耗品(電池など)の消耗。

## 保証とアフターサービス(つづき)

---

(9) (持込修理対象商品の場合)

持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。

(10) (出張修理対象商品の場合)

離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合は、出張に要する実費を申し受けます。

(11) 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウェア、ファームウェアが原因となって損傷が発生した場合。

4. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって株式会社JVCケンウッドおよびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

## お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、株式会社JVCケンウッドおよびJVCケンウッドグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

### 同意書

#### データのお取り扱いについて

当社は、不具合を改善するため、お客様からお預りした記録媒体内のデータを必要最小限の範囲で確認いたします。

しかし、データを複製することや、修理担当者以外の者が閲覧することはありません。

修理に持ち込まれた商品につきましては細心の注意を払ってお取り扱いいたしますが、事前にバックアップを取っておかれることをお勧めします。修理過程でデータが消失する場合や、故障の状態によってフラッシュメモリの初期化(フォーマット)や交換が必要となる場合があります。

- 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容(データ)の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
- 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

以上の「データのお取り扱いについて」に関しまして、ご理解とご同意をお願いいたします。ご同意いただけない場合、不具合箇所によっては修理できないままお返しすることがあります。あらかじめご了承ください。

修理や点検を依頼されるときは、この同意書にご記入のうえ、商品に添付してください。

株式会社JVCケンウッド

どちらかに✓マークをお願いします。

同意する      同意しない

日付：      年      月      日

ご署名：

# 保証書

持込修理

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より1年間です。

## 補修用性能部品の最低保有期間

製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

品名	オーディオ商品	製造番号
型名	XA-LM30	
お客様	お名前	ふりがな
	<b>公開用</b>	
ご住所		
お買い上げ年月日		保証期間
年 月 日		お買い上げ日から 本体 1年間
お買い上げ店		住所・店名・電話

JVCホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町3-12

